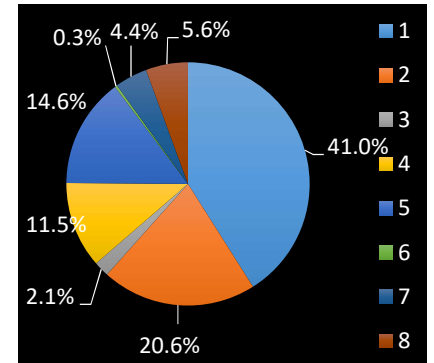


北海道

2019年度 54PJ 対前年度比 118.7%



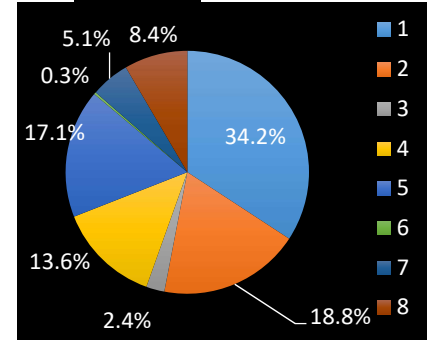
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

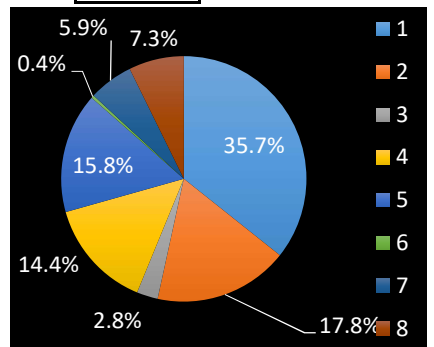
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	12	36	46	41.0%
◎ 2 風力発電	11PJ	2	11	21	20.6%
3 地熱発電	1PJ	6	6	8	2.1%
○ 4 小水力発電	6PJ	7	27	40	11.5%
○ 5 バイオマス発電	8PJ	3	17	43	14.6%
6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.3%
7 地熱利用	2PJ	2	15	27	4.4%
8.バイオマス熱利用	3PJ	2	26	44	5.6%
合計(供給量)	54PJ	1			
再生可能エネルギー自給率			13.75%	再エネ自給率ランク 34	
食料自給率			208.0%	食料自給率ランク 1	
供給密度(TJ/km ²)			0.692	供給密度ランク 47	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				394PJ	
区域面積				78,358km ²	

2018年度 46PJ 対前年度比 113.0%



2017年度 40PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	苫前郡苫前町	285.2%	1	網走郡津別町	287.8	☆1	河西郡更別村	6909.3%
☆2	檜山郡上ノ国町	272.0%	2	有珠郡壮瞥町	267.0	☆2	斜里郡小清水町	6260.4%
☆3	有珠郡壮瞥町	223.8%	3	苫前郡苫前町	255.0	☆3	斜里郡清里町	5443.0%
☆4	久遠郡せたな町	218.3%	4	天塩郡幌延町	192.7	☆4	網走郡大空町	4458.2%
☆5	松前郡松前町	195.0%	5	檜山郡上ノ国町	191.1	☆5	河東郡士幌町	4047.0%
☆6	勇払郡安平町	193.1%	6	勇払郡安平町	167.6	☆6	中川郡豊頃町	3489.3%
☆7	磯谷郡蘭越町	188.0%	7	磯谷郡蘭越町	167.6	☆7	河西郡中札内村	3275.4%
☆8	虻田郡二七コ町	154.0%	8	久遠郡せたな町	163.8	☆8	十勝郡浦幌町	3039.3%
☆9	紋別市	146.6%	9	松前郡松前町	138.9	☆9	斜里郡斜里町	2544.9%
☆10	寿都郡寿都町	144.4%	10	白糠郡白糠町	134.3	☆10	石狩郡新篠津村	2509.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

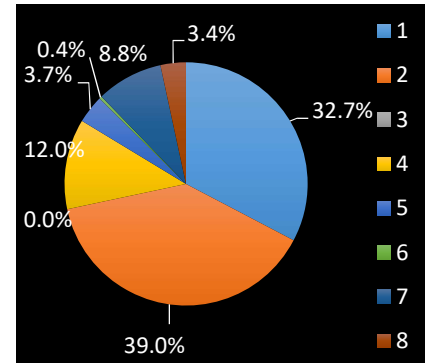
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2019年度 26PJ 対前年度比 112.2%

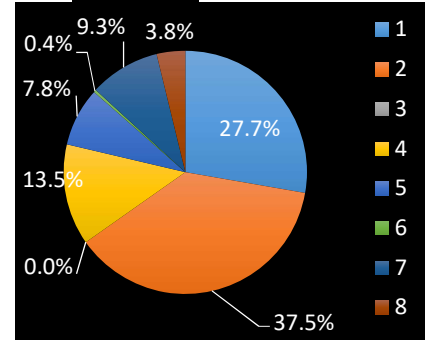


再生可能エネルギー供給状況

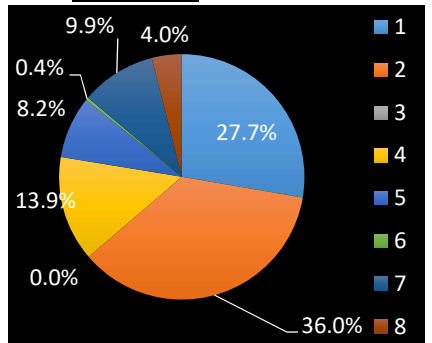
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 23PJ 対前年度比 103.2%



2017年度 22PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	32	31	38	32.7%
◎ 2 風力発電	10PJ	3	2	1	39.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	17	20	25	12.0%
5 バイオマス発電	1PJ	36	37	44	3.7%
6 太陽熱利用	0PJ	44	46	44	0.4%
7 地熱利用	2PJ	3	2	2	8.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	28	22	33	3.4%
合計(供給量)	26PJ	20			
再生可能エネルギー自給率			27.20%	再エネ自給率ランク 17	
食料自給率			118.7%	食料自給率ランク 4	
供給密度(TJ/km ²)			2.668	供給密度ランク 32	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				95PJ	
区域面積				9,646km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下北郡東通村	494.6%	1	西津軽郡深浦町	179.1	☆1	東津軽郡蓬田村	679.9%
☆2	上北郡六ヶ所村	378.6%	2	西津軽郡鰺ヶ沢町	52.1	☆2	つがる市	655.5%
☆3	上北郡横浜町	246.7%	3	平川市	33.5	☆3	北津軽郡中泊町	539.5%
☆4	三戸郡新郷村	218.4%	4	五所川原市	24.1	☆4	東津軽郡平内町	370.2%
☆5	西津軽郡深浦町	190.9%	5	つがる市	22.5	☆5	北津軽郡鶴田町	361.6%
☆6	上北郡野辺地町	147.3%	6	東津軽郡外ヶ浜町	22.4	☆6	北津軽郡板柳町	327.1%
☆7	下北郡大間町	129.7%	7	十和田市	21.4	☆7	三戸郡新郷村	315.2%
☆8	上北郡七戸町	125.4%	8	三沢市	16.6	☆8	南津軽郡田舎館村	288.2%
9	上北郡六戸町	95.8%	9	中津軽郡西目屋村	8.2	☆9	上北郡横浜町	277.3%
10	西津軽郡鰺ヶ沢町	66.0%	10	青森市	8.0	☆10	西津軽郡鰺ヶ沢町	274.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

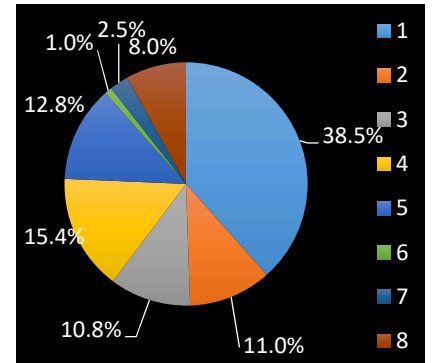
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

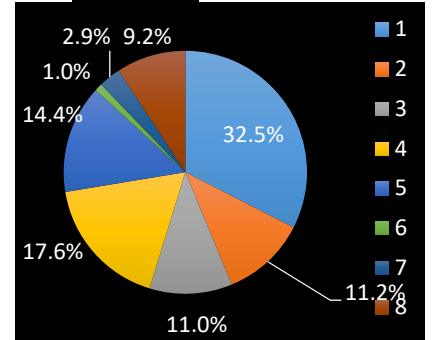
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	28	25	41	38.5%
○ 2 風力発電	3PJ	9	10	20	11.0%
○ 3 地熱発電	3PJ	4	4	4	10.8%
○ 4 小水力発電	4PJ	12	13	30	15.4%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	13	5	32	12.8%
6 太陽熱利用	0PJ	38	33	43	1.0%
7 地熱利用	1PJ	12	11	24	2.5%
8.バイオマス熱利用	2PJ	9	4	29	8.0%
合計(供給量)	24PJ	26			
再生可能エネルギー自給率			29.41%	再エネ自給率ランク	12
食料自給率			101.6%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			1.579	供給密度ランク	43
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				82PJ	
区域面積				15,275km ²	

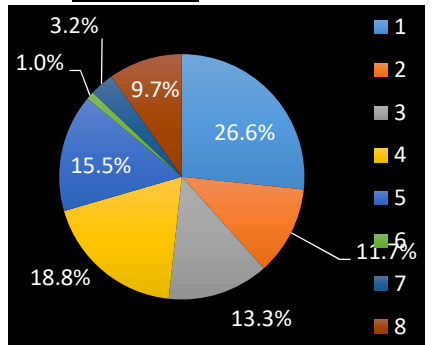
2019年度 24PJ 対前年度比 114.4%



2018年度 21PJ 対前年度比 106.8%



2017年度 20PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	九戸郡野田村	395.5%	1	九戸郡野田村	218.7	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	317.6%
☆2	二戸郡一戸町	200.5%	2	岩手郡雫石町	148.5	☆2	岩手郡雫石町	287.6%
☆3	九戸郡軽米町	184.5%	3	二戸郡一戸町	135.7	☆3	和賀郡西和賀町	275.2%
☆4	岩手郡雫石町	154.9%	4	九戸郡軽米町	125.9	☆4	八幡平市	229.5%
☆5	岩手郡葛巻町	137.7%	5	岩手郡葛巻町	94.7	☆5	下閉伊郡普代村	221.4%
☆6	八幡平市	134.3%	6	八幡平市	87.1	☆6	岩手郡葛巻町	199.3%
7	下閉伊郡岩泉町	89.2%	7	下閉伊郡岩泉町	67.8	☆7	紫波郡紫波町	191.4%
8	九戸郡洋野町	82.8%	8	九戸郡洋野町	49.5	☆8	奥州市	187.0%
9	上閉伊郡大槌町	73.0%	9	上閉伊郡大槌町	38.4	☆9	花巻市	173.4%
10	胆沢郡金ヶ崎町	54.1%	10	気仙郡住田町	35.9	☆10	西磐井郡平泉町	169.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

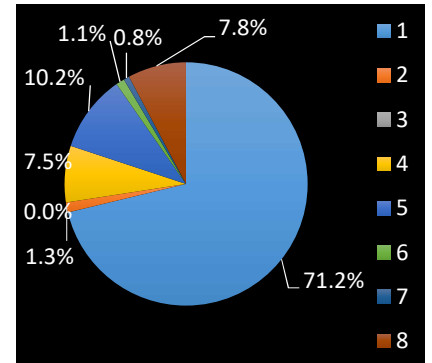
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

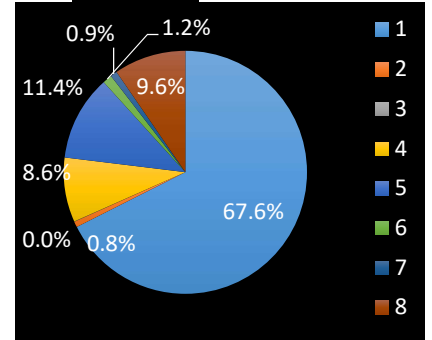
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	18PJ	15	18	19	71.2%
2 風力発電	0PJ	29	28	28	1.3%
3 地熱発電	0PJ	12	13	12	0.0%
4 小水力発電	2PJ	26	28	28	7.5%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	16	18	15	10.2%
6 太陽熱利用	0PJ	36	37	37	1.1%
7 地熱利用	0PJ	26	26	29	0.8%
8.バイオマス熱利用	2PJ	8	10	12	7.8%
合計(供給量)	26PJ	22			
再生可能エネルギー自給率			19.61%	再エネ自給率ランク	27
食料自給率			69.8%	食料自給率ランク	12
供給密度(TJ/km ²)			3.524	供給密度ランク	22
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				131PJ	
区域面積				7,282km ²	

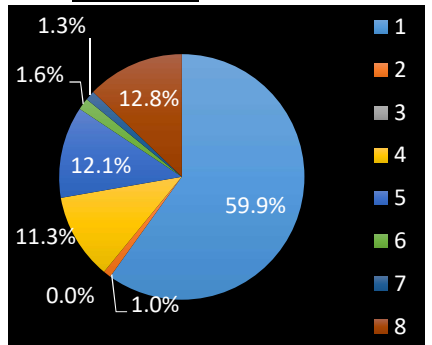
2019年度 26PJ 対前年度比 114.0%



2018年度 23PJ 対前年度比 132.4%



2017年度 17PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	315.6%	1	刈田郡七ヶ宿町	268.2	☆1	加美郡色麻町	480.3%
☆2	黒川郡大郷町	186.5%	2	黒川郡大郷町	83.2	☆2	牡鹿郡女川町	326.9%
☆3	刈田郡蔵王町	117.3%	3	刈田郡蔵王町	69.1	☆3	遠田郡美里町	308.5%
4	黒川郡大和町	91.2%	4	黒川郡大和町	48.0	☆4	登米市	303.2%
5	白石市	87.4%	5	白石市	43.8	☆5	栗原市	298.8%
6	伊具郡丸森町	77.6%	6	黒川郡大衡村	36.6	☆6	加美郡加美町	285.1%
7	亶理郡亶理町	75.0%	7	亶理郡山元町	32.0	☆7	黒川郡大郷町	272.1%
8	亶理郡山元町	67.4%	8	伊具郡丸森町	30.9	☆8	遠田郡涌谷町	254.9%
9	黒川郡大衡村	61.9%	9	石巻市	29.5	☆9	黒川郡大衡村	210.9%
10	栗原市	50.3%	10	亶理郡亶理町	27.7	☆10	刈田郡七ヶ宿町	191.0%

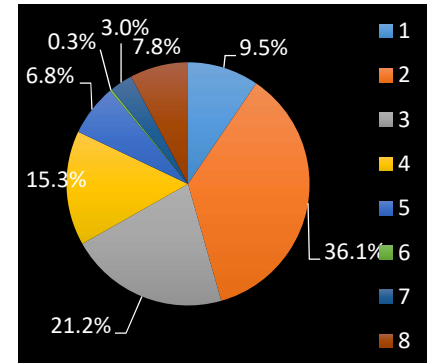
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

2019年度 32PJ 対前年度比 121.5%



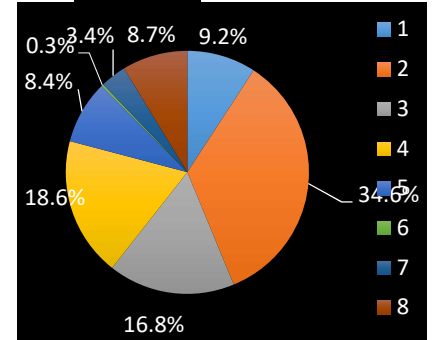
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

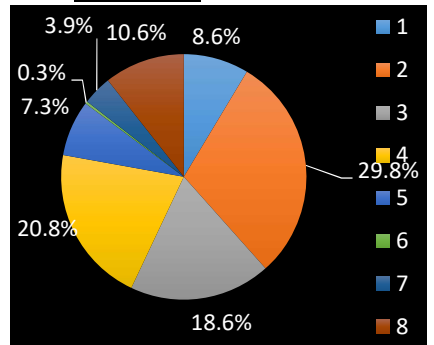
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	3PJ	45	41	47	9.5%
◎ 2 風力発電	12PJ	1	1	2	36.1%
◎ 3 地熱発電	7PJ	2	2	2	21.2%
○ 4 小水力発電	5PJ	9	4	17	15.3%
5 バイオマス発電	2PJ	18	8	34	6.8%
6 太陽熱利用	0PJ	45	43	46	0.3%
7 地熱利用	1PJ	8	3	12	3.0%
8.バイオマス熱利用	3PJ	3	1	15	7.8%
合計(供給量)	32PJ	14			
再生可能エネルギー自給率			45.10%	再エネ自給率ランク	1
食料自給率			196.5%	食料自給率ランク	2
供給密度(TJ/km ²)			2.792	供給密度ランク	30
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				72PJ	
区域面積				11,616km ²	

2018年度 27PJ 対前年度比 112.2%



2017年度 24PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	231.4%	1	鹿角市	157.7	☆1	南秋田郡大湯村	6994.7%
☆2	にかほ市	189.8%	2	にかほ市	111.9	☆2	仙北郡美郷町	508.5%
☆3	山本郡八峰町	145.0%	3	湯沢市	103.7	☆3	山本郡三種町	499.9%
☆4	湯沢市	141.2%	4	山本郡八峰町	101.0	☆4	南秋田郡井川町	418.2%
☆5	山本郡三種町	124.6%	5	男鹿市	87.5	☆5	山本郡八峰町	395.0%
6	男鹿市	90.8%	6	山本郡三種町	76.3	☆6	大仙市	356.4%
7	由利本荘市	86.1%	7	仙北市	56.9	☆7	雄勝郡羽後町	342.2%
8	湯上市	77.5%	8	由利本荘市	56.6	☆8	横手市	286.1%
9	仙北市	67.8%	9	湯上市	43.0	☆9	山本郡藤里町	274.5%
10	能代市	48.0%	10	能代市	37.9	☆10	南秋田郡五城目町	273.3%

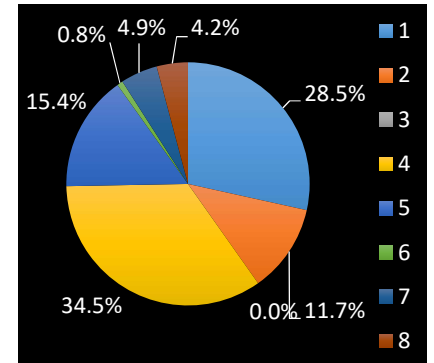
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

2019年度 10PJ 対前年度比 104.5%



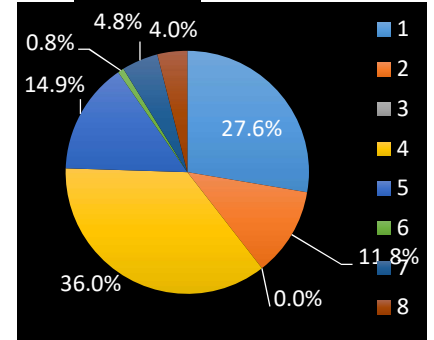
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

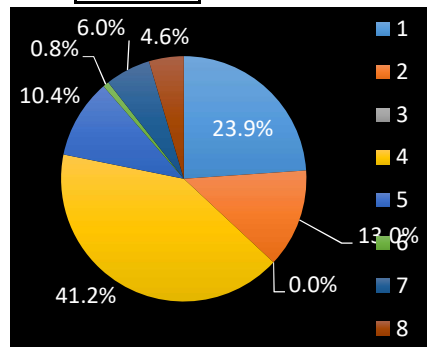
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	46	40	44	28.5%
○ 2 風力発電	1PJ	17	16	23	11.7%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	14	10	22	34.5%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	27	12	37	15.4%
6 太陽熱利用	0PJ	47	44	45	0.8%
7 地熱利用	0PJ	16	10	22	4.9%
8.バイオマス熱利用	0PJ	41	31	43	4.2%
合計(供給量)	10PJ	42			
再生可能エネルギー自給率			15.44%	再エネ自給率ランク 32	
食料自給率			139.2%	食料自給率ランク 3	
供給密度(TJ/km ²)			1.055	供給密度ランク 46	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				64PJ	
区域面積				9,323km ²	

2018年度 9PJ 対前年度比 115.3%



2017年度 8PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	202.8%	1	西村山郡西川町	115.2	☆1	最上郡鮭川村	606.1%
☆2	飽海郡遊佐町	142.9%	2	飽海郡遊佐町	71.7	☆2	東田川郡三川町	508.4%
☆3	西村山郡朝日町	119.1%	3	最上郡大蔵村	59.7	☆3	東置賜郡川西町	481.0%
☆4	最上郡大蔵村	105.2%	4	西村山郡朝日町	53.2	☆4	東田川郡庄内町	469.9%
5	最上郡最上町	36.5%	5	最上郡真室川町	24.3	☆5	最上郡戸沢村	439.7%
6	酒田市	29.3%	6	最上郡最上町	22.4	☆6	西置賜郡飯豊町	424.8%
7	最上郡真室川町	28.0%	7	酒田市	18.4	☆7	最上郡金山町	400.7%
8	最上郡金山町	27.4%	8	新庄市	15.2	☆8	尾花沢市	391.7%
9	新庄市	23.9%	9	最上郡金山町	13.8	☆9	最上郡大蔵村	378.8%
10	鶴岡市	23.5%	10	鶴岡市	13.7	☆10	最上郡舟形町	356.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

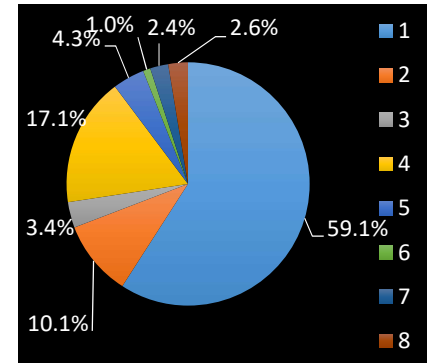
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2019年度 **36PJ** 対前年度比 110.7%

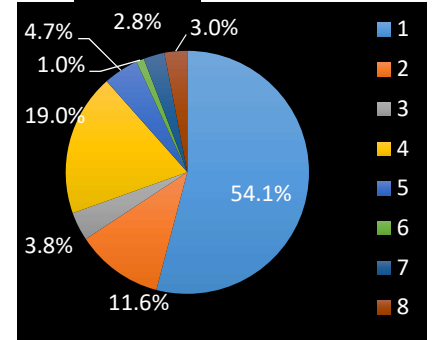


再生可能エネルギー供給状況

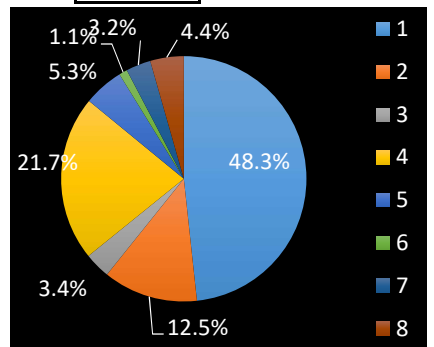
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 **33PJ** 対前年度比 114.9%



2017年度 **29PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	13	9	33	59.1%
○ 2 風力発電	4PJ	6	9	13	10.1%
3 地熱発電	1PJ	5	5	5	3.4%
○ 4 小水力発電	6PJ	6	9	15	17.1%
5 バイオマス発電	2PJ	26	27	42	4.3%
6 太陽熱利用	0PJ	33	32	39	1.0%
7 地熱利用	1PJ	9	9	17	2.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	26	24	39	2.6%
合計(供給量)	36PJ	9			
再生可能エネルギー自給率			32.75%	再エネ自給率ランク	7
食料自給率			75.0%	食料自給率ランク	9
供給密度(TJ/km ²)			2.643	供給密度ランク	34
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				111PJ	
区域面積				13,784km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	河沼郡柳津町	659.5%	1	双葉郡浪江町	971.0	☆1	河沼郡湯川村	669.1%
☆2	南会津郡下郷町	313.7%	2	双葉郡富岡町	862.7	☆2	河沼郡会津坂下町	357.7%
☆3	双葉郡川内村	232.5%	3	双葉郡大熊町	676.5	☆3	耶麻郡猪苗代町	334.6%
☆4	田村市	126.1%	4	双葉郡楢葉町	632.4	☆4	大沼郡会津美里町	313.0%
☆5	田村郡小野町	121.4%	5	河沼郡柳津町	394.3	☆5	岩瀬郡天栄村	293.2%
6	石川郡浅川町	88.4%	6	相馬郡飯館村	294.4	☆6	大沼郡昭和村	255.1%
7	南相馬市	74.5%	7	南会津郡下郷町	219.2	☆7	耶麻郡磐梯町	249.8%
8	石川郡古殿町	70.8%	8	双葉郡川内村	204.1	☆8	喜多方市	246.8%
9	西白河郡矢吹町	68.9%	9	東白川郡塙町	80.1	☆9	西白河郡泉崎村	222.0%
10	白河市	68.8%	10	田村郡小野町	59.4	☆10	西白河郡中島村	221.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

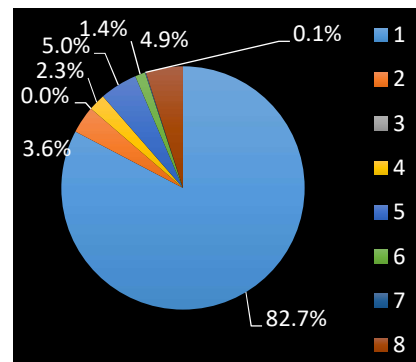
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2019年度 **51PJ** 対前年度比 104.3%



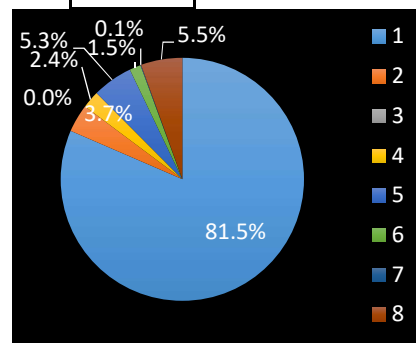
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

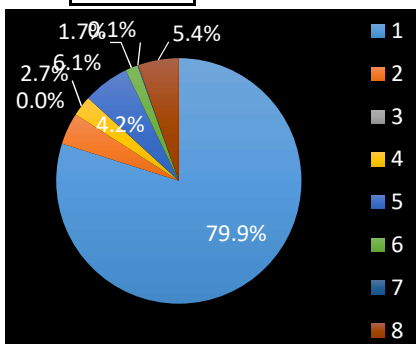
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	1	3	1	82.7%
2 風力発電	2PJ	14	19	11	3.6%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	33	35	34	2.3%
5 バイオマス発電	3PJ	17	23	13	5.0%
6 太陽熱利用	1PJ	21	28	18	1.4%
7 地熱利用	0PJ	36	36	39	0.1%
8. バイオマス熱利用	3PJ	4	12	9	4.9%
合計(供給量)	51PJ	2			
再生可能エネルギー自給率			30.29%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			68.1%	食料自給率ランク	11
供給密度(TJ/km ²)			8.308	供給密度ランク	5
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				167PJ	
区域面積				6,097km ²	

2018年度 **49PJ** 対前年度比 113.6%



2017年度 **43PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	行方市	86.9%	1	高萩市	74.2	☆1	稲敷郡河内町	429.7%
2	稲敷市	83.3%	2	神栖市	52.1	☆2	鉾田市	356.8%
3	神栖市	82.8%	3	行方市	46.8	☆3	行方市	317.0%
4	高萩市	79.3%	4	稲敷市	41.5	☆4	稲敷市	269.2%
5	桜川市	76.4%	5	桜川市	36.8	☆5	結城郡八千代町	194.2%
6	北茨城市	68.5%	6	鉾田市	36.0	☆6	東茨城郡茨城町	190.0%
7	鉾田市	63.0%	7	北茨城市	35.4	☆7	北茨城市	175.7%
8	久慈郡大子町	60.0%	8	久慈郡大子町	35.1	☆8	神栖市	139.6%
9	常陸大宮市	57.3%	9	常陸大宮市	32.2	☆9	筑西市	127.4%
10	東茨城郡茨城町	53.9%	10	東茨城郡茨城町	29.9	☆10	小美玉市	126.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

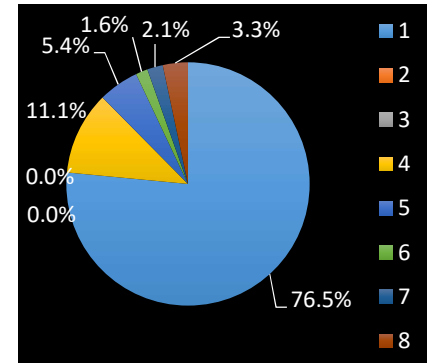
栃木県

再生可能エネルギー供給状況

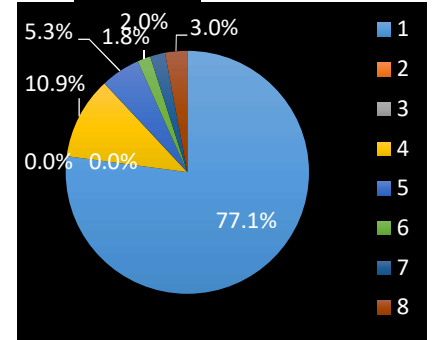
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

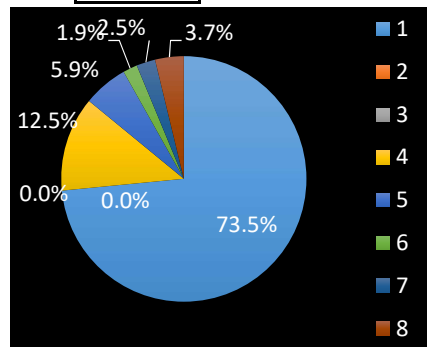
2019年度 34PJ 対前年度比 98.6%



2018年度 34PJ 対前年度比 114.3%



2017年度 30PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	8	5	10	76.5%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	4PJ	11	19	13	11.1%
5 バイオマス発電	2PJ	24	22	22	5.4%
6 太陽熱利用	1PJ	26	26	28	1.6%
7 地熱利用	1PJ	11	13	7	2.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	20	18	24	3.3%
合計(供給量)	34PJ	12			
再生可能エネルギー自給率			30.41%	再エネ自給率ランク 9	
食料自給率			67.4%	食料自給率ランク 13	
供給密度(TJ/km ²)			5.256	供給密度ランク 13	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				111PJ	
区域面積				6,408km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	塩谷郡塩谷町	161.0%	1	塩谷郡塩谷町	83.3	☆1	芳賀郡芳賀町	306.5%
☆2	那須郡那珂川町	126.5%	2	那須郡那珂川町	71.5	☆2	塩谷郡塩谷町	274.7%
☆3	那須烏山市	114.2%	3	那須烏山市	55.4	☆3	那須郡那須町	217.5%
4	日光市	82.3%	4	那須郡那須町	54.9	☆4	芳賀郡市貝町	215.1%
5	那須郡那須町	73.2%	5	日光市	52.7	☆5	大田原市	196.2%
6	矢板市	62.3%	6	矢板市	36.6	☆6	塩谷郡高根沢町	172.2%
7	芳賀郡益子町	57.1%	7	那須塩原市	33.4	☆7	那須郡那珂川町	154.5%
8	那須塩原市	56.3%	8	芳賀郡芳賀町	30.4	☆8	さくら市	151.1%
9	芳賀郡市貝町	46.2%	9	佐野市	24.7	☆9	那須烏山市	131.4%
10	佐野市	45.0%	10	芳賀郡市貝町	24.1	☆10	那須塩原市	113.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

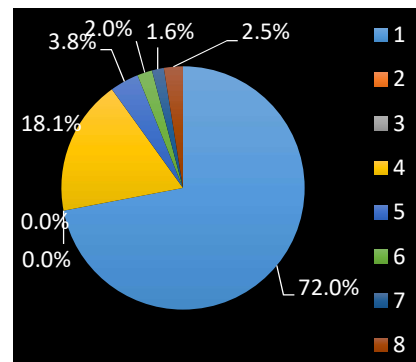
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

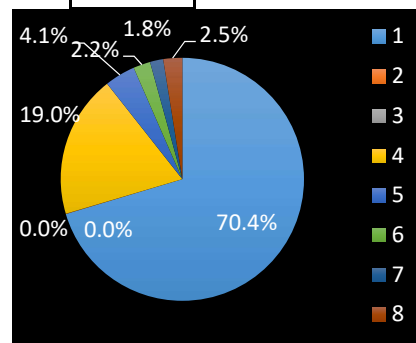
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	27PJ	5	1	9	72.0%
2 風力発電	0PJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	4	5	3	18.1%
5 バイオマス発電	1PJ	28	26	28	3.8%
6 太陽熱利用	1PJ	18	15	17	2.0%
7 地熱利用	1PJ	13	16	11	1.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	25	21	27	2.5%
合計(供給量)	38PJ	8			
再生可能エネルギー自給率			37.61%	再エネ自給率ランク 4	
食料自給率			29.8%	食料自給率ランク 31	
供給密度(TJ/km ²)			5.993	供給密度ランク 11	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				101PJ	
区域面積				6,362km ²	

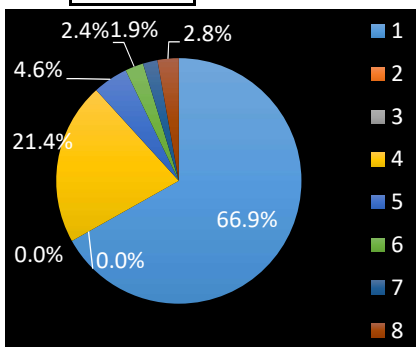
2019年度 38PJ 対前年度比 105.0%



2018年度 36PJ 対前年度比 113.1%



2017年度 32PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	527.8%	1	利根郡片品村	331.9	☆1	利根郡昭和村	353.0%
☆2	吾妻郡高山村	277.8%	2	吾妻郡高山村	160.2	☆2	吾妻郡嬭恋村	300.4%
☆3	吾妻郡嬭恋村	219.5%	3	吾妻郡嬭恋村	132.3	☆3	邑楽郡板倉町	233.2%
☆4	利根郡昭和村	183.2%	4	利根郡昭和村	101.3	☆4	吾妻郡長野原町	167.9%
☆5	吾妻郡中之条町	157.3%	5	吾妻郡中之条町	97.1	☆5	利根郡川場村	141.3%
☆6	吾妻郡長野原町	130.8%	6	吾妻郡長野原町	93.5	6	邑楽郡千代田町	98.9%
☆7	吾妻郡東吾妻町	130.2%	7	利根郡みなかみ町	77.7	7	吾妻郡高山村	92.6%
☆8	利根郡みなかみ町	122.7%	8	吾妻郡東吾妻町	73.5	8	吾妻郡東吾妻町	91.3%
9	安中市	78.5%	9	安中市	36.3	9	邑楽郡明和町	75.3%
10	邑楽郡千代田町	56.2%	10	吾妻郡草津町	26.8	10	邑楽郡邑楽町	74.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

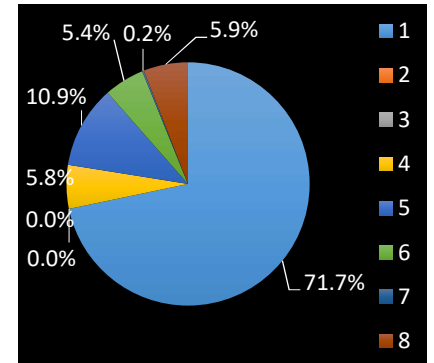
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

2019年度 27PJ 対前年度比 99.8%

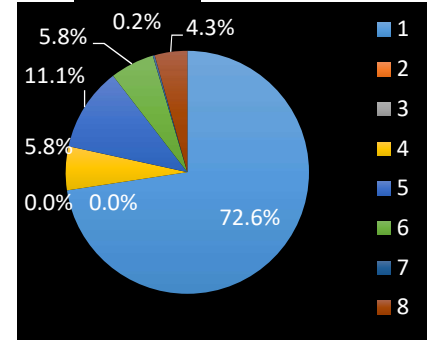


再生可能エネルギー供給状況

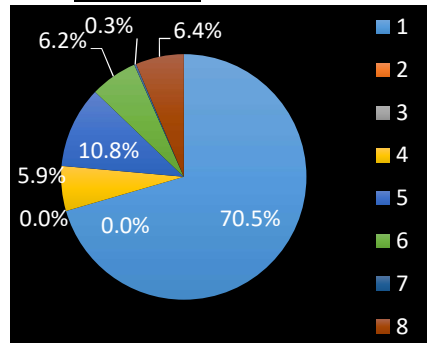
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 27PJ 対前年度比 101.4%



2017年度 27PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	14	37	6	71.7%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	28	40	18	5.8%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	15	43	6	10.9%
6 太陽熱利用	1PJ	3	29	5	5.4%
7 地熱利用	0PJ	37	41	35	0.2%
8.バイオマス熱利用	2PJ	11	37	7	5.9%
合計(供給量)	27PJ	18			
再生可能エネルギー自給率			7.68%	再エネ自給率ランク 42	
食料自給率			9.7%	食料自給率ランク 44	
供給密度(TJ/km ²)			7.060	供給密度ランク 7	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				349PJ	
区域面積				3,798km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	秩父市	68.7%	1	秩父市	37.8	☆1	児玉郡美里町	107.9%
2	児玉郡美里町	64.8%	2	児玉郡美里町	30.6	☆2	比企郡川島町	104.7%
3	児玉郡神川町	52.2%	3	児玉郡神川町	26.2	3	比企郡吉見町	86.7%
4	比企郡吉見町	49.0%	4	比企郡吉見町	20.8	4	加須市	75.6%
5	比企郡鳩山町	34.3%	5	比企郡鳩山町	15.9	5	羽生市	56.5%
6	比企郡川島町	29.9%	6	本庄市	15.1	6	行田市	50.8%
7	本庄市	27.7%	7	比企郡川島町	14.4	7	児玉郡神川町	49.6%
8	羽生市	25.8%	8	羽生市	13.3	8	児玉郡上里町	45.6%
9	比企郡滑川町	21.7%	9	熊谷市	11.2	9	北葛飾郡杉戸町	38.7%
10	秩父郡東秩父村	20.3%	10	秩父郡皆野町	10.9	10	幸手市	37.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

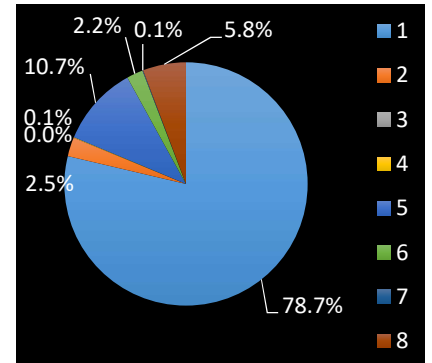
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

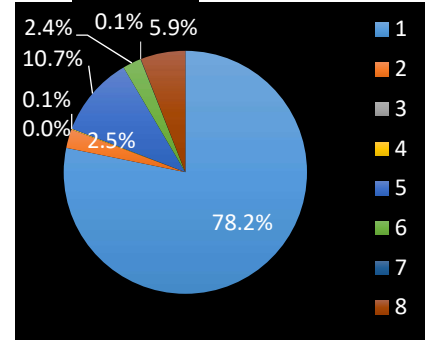
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	31PJ	3	29	4	78.7%
2 風力発電	1PJ	18	27	18	2.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	45	45	46	0.1%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	9	31	5	10.7%
6 太陽熱利用	1PJ	12	35	11	2.2%
7 地熱利用	0PJ	40	43	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	5	30	4	5.8%
合計(供給量)	40PJ	7			
再生可能エネルギー自給率			11.85%	再エネ自給率ランク	39
食料自給率			24.0%	食料自給率ランク	34
供給密度(TJ/km ²)			7.747	供給密度ランク	6
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				337PJ	
区域面積				5,157km ²	

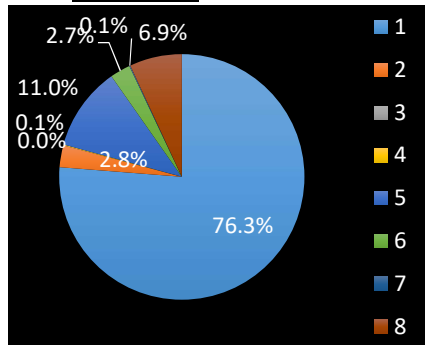
2019年度 40PJ 対前年度比 100.5%



2018年度 40PJ 対前年度比 114.2%



2017年度 35PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	勝浦市	68.2%	1	香取郡神崎町	59.9	☆1	香取郡多古町	296.4%
2	富津市	58.5%	2	山武郡芝山町	47.2	☆2	香取市	228.5%
3	長生郡睦沢町	57.5%	3	勝浦市	41.5	☆3	山武郡芝山町	224.4%
4	長生郡長柄町	57.1%	4	袖ヶ浦市	34.2	☆4	香取郡東庄町	210.3%
5	香取郡多古町	50.9%	5	富津市	32.0	☆5	匝瑳市	206.5%
6	山武郡芝山町	50.2%	6	夷隅郡大多喜町	30.7	☆6	山武郡横芝光町	182.5%
7	長生郡長生村	49.3%	7	長生郡長柄町	30.7	☆7	旭市	178.0%
8	袖ヶ浦市	49.0%	8	香取郡多古町	28.4	☆8	長生郡長南町	169.3%
9	夷隅郡大多喜町	48.6%	9	長生郡睦沢町	25.7	☆9	香取郡神崎町	154.4%
10	山武市	45.6%	10	香取市	24.4	☆10	山武市	131.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

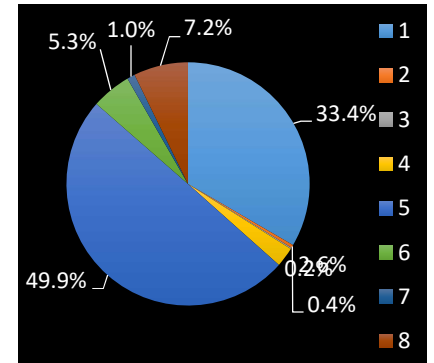
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

2019年度 **20PJ** 対前年度比 92.6%



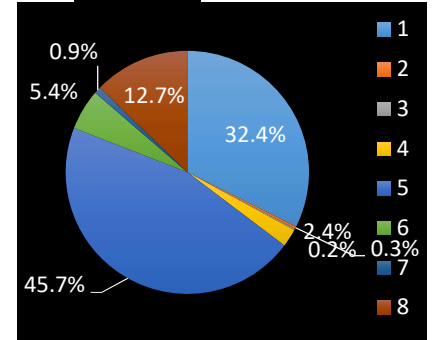
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

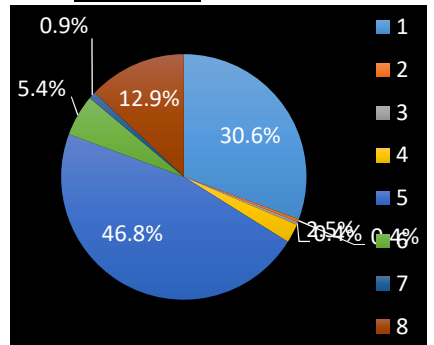
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	35	47	16	33.4%
2 風力発電	0PJ	33	37	30	0.4%
3 地熱発電	0PJ	8	9	7	0.2%
4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.6%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	1	36	1	49.9%
6 太陽熱利用	1PJ	9	45	3	5.3%
7 地熱利用	0PJ	25	38	10	1.0%
8 バイオマス熱利用	1PJ	13	46	2	7.2%
合計(供給量)	20PJ	27			
再生可能エネルギー自給率			2.08%	再エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.6%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			9.016	供給密度ランク 4	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				946PJ	
区域面積				2,181km ²	

2018年度 **21PJ** 対前年度比 104.2%



2017年度 **20PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西多摩郡奥多摩町	138.4%	1	西多摩郡奥多摩町	84.6	☆1	青ヶ島村	740.1%
2	神津島村	23.5%	2	神津島村	16.3	2	八丈町	72.4%
3	八丈町	21.9%	3	八丈町	14.1	3	神津島村	31.5%
4	新島村	15.8%	4	新島村	9.6	4	利島村	19.0%
5	稲城市	14.6%	5	御蔵島村	8.4	5	小笠原村	14.1%
6	御蔵島村	12.9%	6	三宅村	7.6	6	三宅村	12.6%
7	三宅村	10.6%	7	稲城市	5.8	7	御蔵島村	11.2%
8	東久留米市	9.0%	8	大島町	4.8	8	あきる野市	9.5%
9	大島町	7.6%	9	多摩市	3.9	9	新島村	3.8%
10	多摩市	7.2%	10	東久留米市	3.5	10	大島町	3.5%

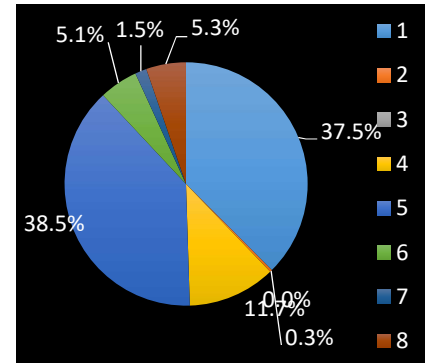
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

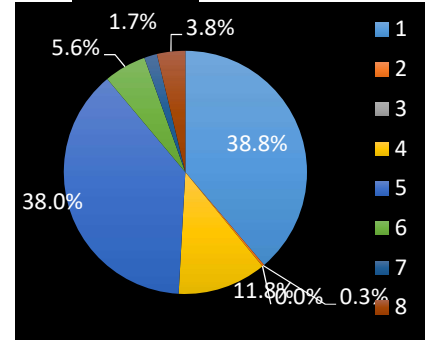
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

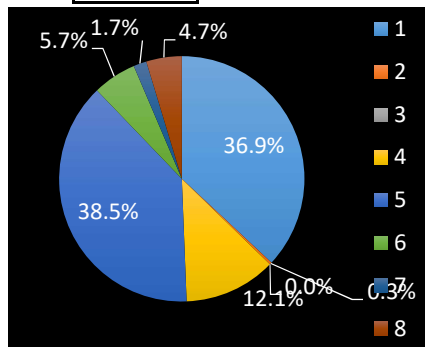
2019年度 25PJ 対前年度比 101.0%



2018年度 25PJ 対前年度比 103.1%



2017年度 24PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	27	46	11	37.5%
2 風力発電	0PJ	34	35	32	0.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	18	36	2	11.7%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	2	15	3	38.5%
6 太陽熱利用	1PJ	7	34	2	5.1%
7 地熱利用	0PJ	18	31	5	1.5%
8. バイオマス熱利用	1PJ	16	43	3	5.3%
合計(供給量)	25PJ	24			
再生可能エネルギー自給率			5.52%	再エネ自給率ランク	45
食料自給率			2.0%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			10.516	供給密度ランク	2
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				461PJ	
区域面積				2,416km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	262.6%	1	足柄上郡山北町	183.5	1	三浦市	72.2%
2	足柄下郡箱根町	49.0%	2	足柄下郡箱根町	89.2	2	愛甲郡清川村	22.6%
3	南足柄市	26.4%	3	足柄上郡中井町	20.8	3	足柄上郡中井町	19.5%
4	足柄上郡中井町	26.3%	4	足柄上郡大井町	11.6	4	足柄下郡真鶴町	13.0%
5	足柄上郡大井町	22.0%	5	南足柄市	10.8	5	足柄上郡大井町	13.0%
6	足柄下郡湯河原町	10.4%	6	足柄下郡湯河原町	6.5	6	足柄上郡開成町	11.5%
7	平塚市	9.4%	7	愛甲郡愛川町	5.4	7	伊勢原市	9.9%
8	川崎市	8.9%	8	平塚市	4.8	8	平塚市	7.5%
9	愛甲郡愛川町	8.6%	9	川崎市	4.3	9	南足柄市	7.3%
10	秦野市	8.6%	10	秦野市	3.9	10	足柄上郡山北町	6.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

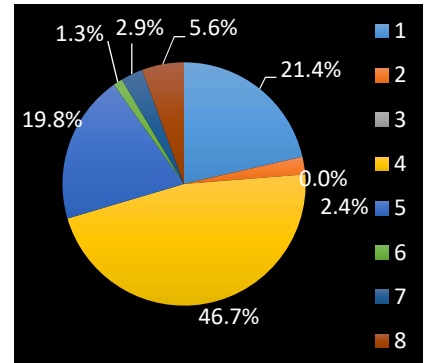
新潟県

再生可能エネルギー供給状況

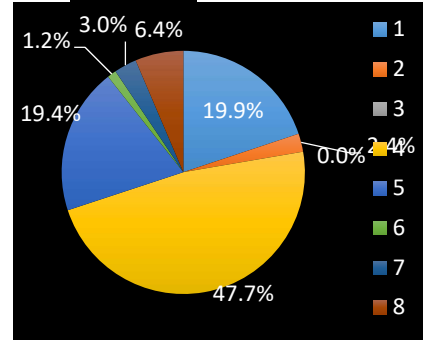
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

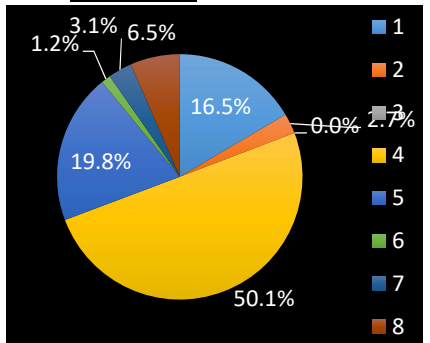
2019年度 18PJ 対前年度比 104.6%



2018年度 17PJ 対前年度比 105.1%



2017年度 16PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	41	44	45	21.4%
2 風力発電	0PJ	27	26	31	2.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	8PJ	3	8	9	46.7%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	11	11	26	19.8%
6 太陽熱利用	0PJ	39	39	42	1.3%
7 地熱利用	1PJ	15	20	23	2.9%
8 バイオマス熱利用	1PJ	24	28	37	5.6%
合計(供給量)	18PJ	30			
再生可能エネルギー自給率			12.64%	再エネ自給率ランク 36	
食料自給率			103.7%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.396	供給密度ランク 45	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				139PJ	
区域面積				12,584km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	173.5%	1	糸魚川市	97.5	☆1	中魚沼郡津南町	332.5%
2	中魚沼郡津南町	89.1%	2	中魚沼郡津南町	53.4	☆2	岩船郡関川村	329.5%
3	東蒲原郡阿賀町	76.0%	3	妙高市	48.2	☆3	阿賀野市	254.2%
4	妙高市	75.8%	4	東蒲原郡阿賀町	46.9	☆4	胎内市	208.9%
5	胎内市	65.7%	5	南魚沼郡湯沢町	46.3	☆5	西蒲原郡弥彦村	202.7%
6	南魚沼郡湯沢町	52.2%	6	胎内市	35.7	☆6	佐渡市	201.0%
7	魚沼市	52.1%	7	魚沼市	27.5	☆7	村上市	191.1%
8	南魚沼市	22.5%	8	南魚沼市	15.6	☆8	刈羽郡刈羽村	183.6%
9	三島郡出雲崎町	22.2%	9	三島郡出雲崎町	11.0	☆9	新発田市	171.5%
10	北蒲原郡聖籠町	16.9%	10	岩船郡関川村	9.7	☆10	南魚沼市	161.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

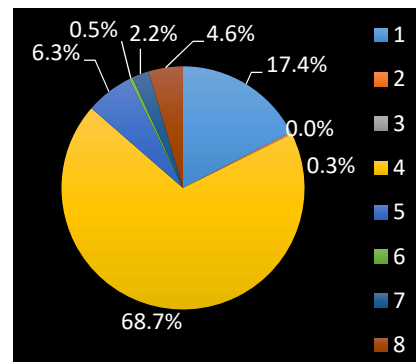
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

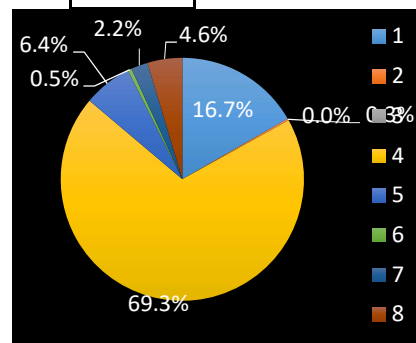
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	3PJ	44	39	40	17.4%
2 風力発電	0PJ	35	33	35	0.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	13PJ	2	1	1	68.7%
5 バイオマス発電	1PJ	33	21	25	6.3%
6 太陽熱利用	0PJ	46	42	41	0.5%
7 地熱利用	0PJ	17	14	8	2.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	30	17	20	4.6%
合計(供給量)	19PJ	28			
再生可能エネルギー自給率			27.07%	再エネ自給率ランク 18	
食料自給率			74.6%	食料自給率ランク 10	
供給密度(TJ/km ²)			4.402	供給密度ランク 17	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				69PJ	
区域面積				4,248km ²	

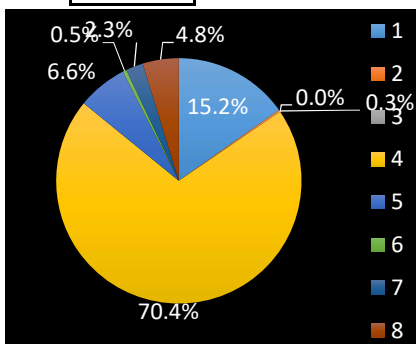
2019年度 19PJ 対前年度比 100.9%



2018年度 19PJ 対前年度比 102.8%



2017年度 18PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	125.3%	1	下新川郡朝日町	82.5	☆1	下新川郡入善町	282.2%
2	中新川郡立山町	94.0%	2	中新川郡立山町	47.5	☆2	南砺市	199.5%
3	魚津市	70.8%	3	魚津市	46.1	☆3	下新川郡朝日町	179.4%
4	中新川郡上市町	67.4%	4	黒部市	38.7	☆4	小矢部市	164.3%
5	黒部市	63.6%	5	中新川郡上市町	34.1	☆5	中新川郡立山町	160.3%
6	滑川市	48.4%	6	滑川市	25.1	☆6	砺波市	134.5%
7	下新川郡入善町	31.2%	7	富山市	19.4	7	中新川郡上市町	92.0%
8	富山市	26.6%	8	下新川郡入善町	18.5	8	氷見市	90.8%
9	小矢部市	13.3%	9	高岡市	8.8	9	黒部市	90.2%
10	射水市	13.2%	10	小矢部市	8.1	10	中新川郡舟橋村	87.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

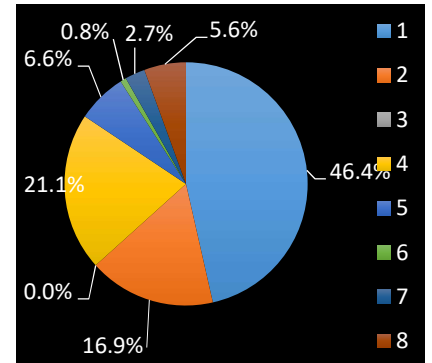
石川県

再生可能エネルギー供給状況

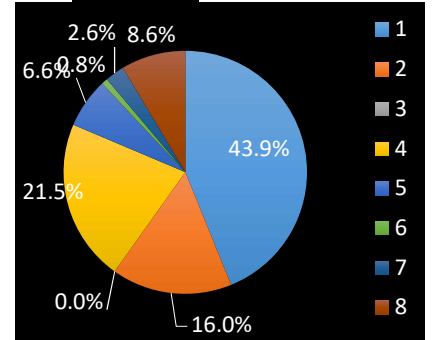
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

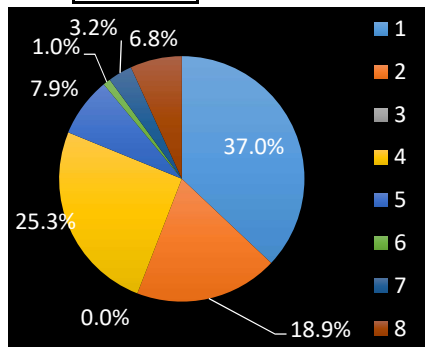
2019年度 13PJ 対前年度比 102.4%



2018年度 12PJ 対前年度比 118.5%



2017年度 10PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	38	35	34	46.4%
○ 2 風力発電	2PJ	11	12	4	16.9%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	20	18	10	21.1%
5 バイオマス発電	1PJ	38	34	33	6.6%
6 太陽熱利用	0PJ	43	41	40	0.8%
7 地熱利用	0PJ	19	19	14	2.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	37	23	25	5.6%
合計(供給量)	13PJ	35			
再生可能エネルギー自給率			16.35%	再エネ自給率ランク 31	
食料自給率			46.7%	食料自給率ランク 22	
供給密度(TJ/km ²)			3.026	供給密度ランク 25	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				77PJ	
区域面積				4,186km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	194.0%	1	羽咋郡宝達志水町	108.4	☆1	羽咋郡志賀町	211.0%
☆2	羽咋郡志賀町	103.9%	2	羽咋郡志賀町	71.8	☆2	能美郡川北町	201.4%
3	珠洲市	92.1%	3	珠洲市	67.0	☆3	鳳珠郡能登町	146.0%
4	白山市	36.8%	4	七尾市	28.8	☆4	羽咋市	141.2%
5	七尾市	35.5%	5	白山市	21.4	☆5	羽咋郡宝達志水町	137.6%
6	鹿島郡中能登町	32.1%	6	輪島市	16.2	☆6	珠洲市	131.9%
7	羽咋市	25.8%	7	羽咋市	15.8	☆7	鹿島郡中能登町	114.8%
8	能美郡川北町	24.5%	8	鹿島郡中能登町	14.6	☆8	輪島市	106.1%
9	輪島市	22.0%	9	能美郡川北町	11.3	9	鳳珠郡穴水町	97.2%
10	かほく市	18.5%	10	鳳珠郡穴水町	11.0	10	七尾市	86.5%

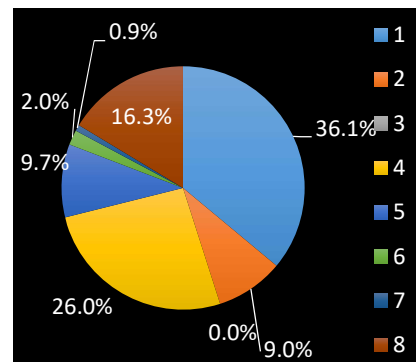
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2019年度 6PJ 対前年度比 102.1%

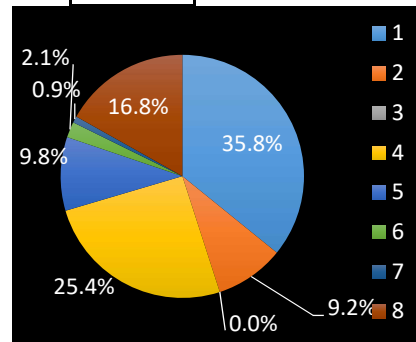


再生可能エネルギー供給状況

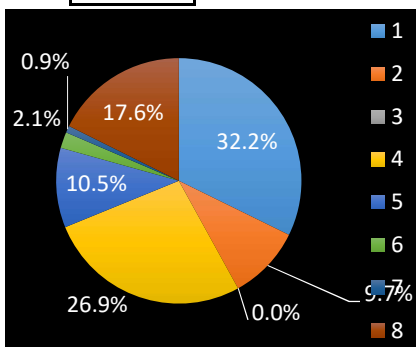
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 6PJ 対前年度比 105.7%



2017年度 6PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	2PJ	47	42	42	36.1%
2 風力発電	1PJ	23	20	22	9.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	27	21	19	26.0%
5 バイオマス発電	1PJ	43	33	38	9.7%
6 太陽熱利用	0PJ	41	36	38	2.0%
7 地熱利用	0PJ	38	29	36	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	1PJ	22	8	14	16.3%
合計(供給量)	6PJ	46			
再生可能エネルギー自給率			11.60%	再エネ自給率ランク 40	
食料自給率			63.0%	食料自給率ランク 15	
供給密度(TJ/km ²)			1.546	供給密度ランク 44	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				56PJ	
区域面積				4,191km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	63.2%	1	大野市	45.0	☆1	今立郡池田町	175.8%
2	あわら市	43.1%	2	あわら市	29.4	☆2	大野市	164.4%
3	今立郡池田町	29.2%	3	今立郡池田町	24.5	☆3	三方上中郡若狭町	141.1%
4	勝山市	26.9%	4	勝山市	16.3	☆4	あわら市	139.3%
5	三方郡美浜町	16.0%	5	三方郡美浜町	12.2	☆5	南条郡南越前町	121.6%
6	坂井市	15.3%	6	敦賀市	10.1	☆6	三方郡美浜町	100.5%
7	敦賀市	11.9%	7	坂井市	8.8	7	坂井市	97.5%
8	福井市	7.3%	8	福井市	6.2	8	大飯郡おおい町	96.1%
9	三方上中郡若狭町	4.9%	9	大飯郡おおい町	3.3	9	勝山市	87.6%
10	丹生郡越前町	4.4%	10	三方上中郡若狭町	3.2	10	丹生郡越前町	83.1%

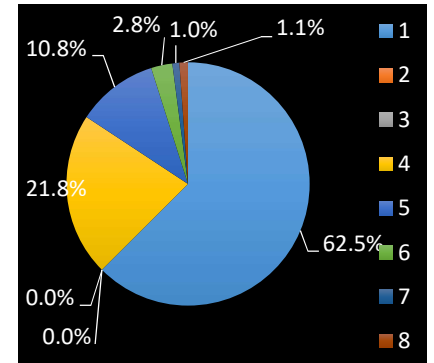
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2019年度 13PJ 対前年度比 99.2%



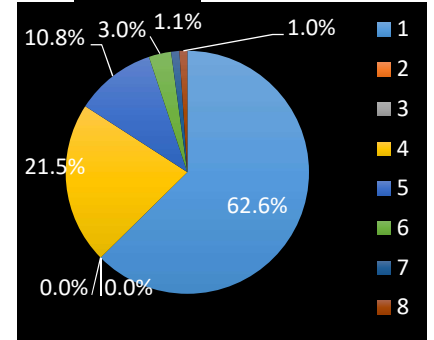
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

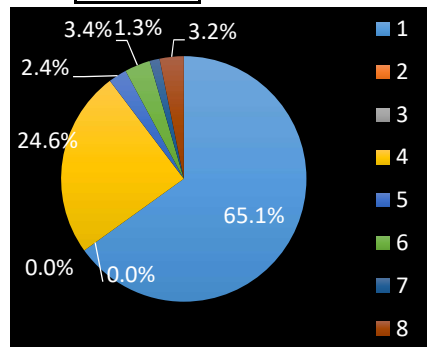
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	33	12	27	62.5%
2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	19	7	8	21.8%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	30	9	17	10.8%
6 太陽熱利用	0PJ	32	12	30	2.8%
7 地熱利用	0PJ	30	24	28	1.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	45	41	45	1.1%
合計(供給量)	13PJ	33			
再生可能エネルギー自給率			27.34%	再エネ自給率ランク 16	
食料自給率			17.9%	食料自給率ランク 38	
供給密度(TJ/km ²)			2.998	供給密度ランク 28	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				49PJ	
区域面積				4,461km ²	

2018年度 13PJ 対前年度比 114.8%



2017年度 12PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	494.0%	1	南巨摩郡早川町	473.9	☆1	北杜市	100.7%
☆2	北杜市	102.3%	2	北杜市	64.6	2	韮崎市	50.8%
3	大月市	97.0%	3	大月市	49.7	3	甲州市	26.1%
4	甲州市	53.2%	4	甲州市	28.3	4	北都留郡丹波山村	24.3%
5	南都留郡忍野村	51.8%	5	韮崎市	26.6	5	中央市	23.8%
6	韮崎市	48.9%	6	南都留郡鳴沢村	25.8	6	南巨摩郡南部町	23.4%
7	山梨市	46.6%	7	南都留郡忍野村	24.5	7	南都留郡鳴沢村	19.7%
8	南都留郡鳴沢村	42.1%	8	山梨市	23.8	8	南巨摩郡身延町	19.5%
9	南アルプス市	34.3%	9	南アルプス市	15.3	9	笛吹市	19.1%
10	西八代郡市川三郷町	31.6%	10	西八代郡市川三郷町	14.7	10	山梨市	18.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

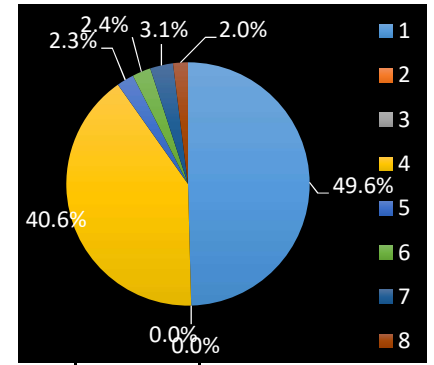
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

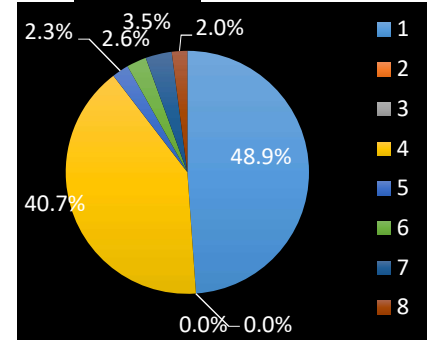
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	19	19	36	49.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	14PJ	1	2	4	40.6%
5 バイオマス発電	1PJ	39	45	47	2.3%
6 太陽熱利用	1PJ	14	19	34	2.4%
7 地熱利用	1PJ	7	6	15	3.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	38	35	41	2.0%
合計(供給量)	35PJ	11			
再生可能エネルギー自給率			27.42%	再エネ自給率ランク	15
食料自給率			48.8%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			2.560	供給密度ランク	35
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				127PJ	
区域面積				13,562km ²	

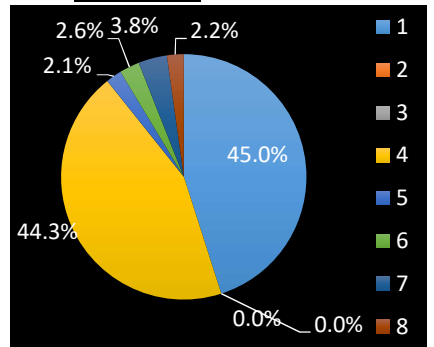
2019年度 35PJ 対前年度比 100.6%



2018年度 34PJ 対前年度比 109.1%



2017年度 32PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡大鹿村	1077.9%	1	下伊那郡平谷村	1013.7	☆1	南佐久郡川上村	672.2%
☆2	下伊那郡平谷村	997.3%	2	下伊那郡大鹿村	767.4	☆2	南佐久郡南牧村	620.3%
☆3	下水内郡栄村	495.7%	3	下水内郡栄村	430.0	☆3	下水内郡栄村	239.0%
☆4	南佐久郡小海町	332.5%	4	南佐久郡小海町	218.7	☆4	下高井郡木島平村	228.0%
☆5	北安曇郡小谷村	215.6%	5	北安曇郡小谷村	196.8	☆5	北安曇郡松川村	190.5%
☆6	下伊那郡泰阜村	212.5%	6	下伊那郡阿智村	119.6	☆6	北佐久郡立科町	184.4%
☆7	下伊那郡阿南町	204.0%	7	下伊那郡阿南町	116.8	☆7	上水内郡信濃町	181.5%
☆8	下伊那郡阿智村	193.4%	8	下伊那郡泰阜村	108.0	☆8	諏訪郡原村	172.3%
☆9	小県郡長和町	157.4%	9	小県郡長和町	105.7	☆9	南佐久郡小海町	156.6%
☆10	南佐久郡佐久穂町	146.5%	10	木曾郡上松町	95.7	☆10	飯山市	149.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

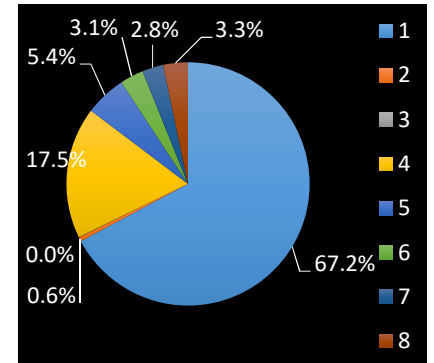
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

2019年度 26PJ 対前年度比 108.1%

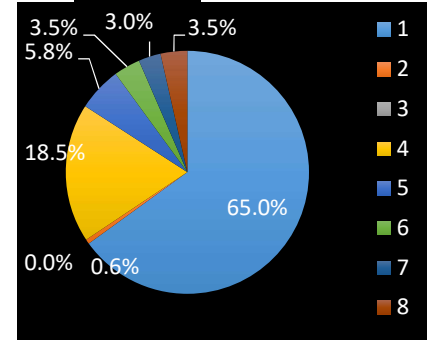


再生可能エネルギー供給状況

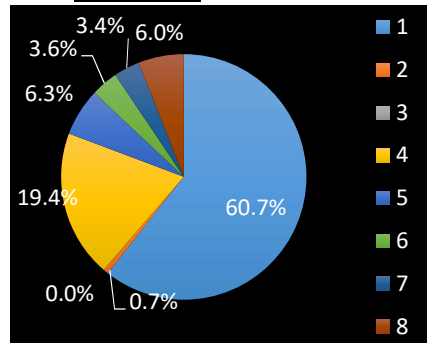
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 24PJ 対前年度比 107.5%



2017年度 22PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	18	13	31	67.2%
2 風力発電	0PJ	31	31	34	0.6%
3 地熱発電	0PJ	11	10	11	0.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	10	15	16	17.5%
5 バイオマス発電	1PJ	31	29	41	5.4%
6 太陽熱利用	1PJ	15	13	32	3.1%
7 地熱利用	1PJ	10	12	16	2.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	31	25	35	3.3%
合計(供給量)	26PJ	19			
再生可能エネルギー自給率			24.13%	再エネ自給率ランク 22	
食料自給率			23.9%	食料自給率ランク 35	
供給密度(TJ/km ²)			2.445	供給密度ランク 38	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				108PJ	
区域面積				10,621km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡富加町	100.8%	1	加茂郡川辺町	66.0	☆1	海津市	151.5%
2	揖斐郡揖斐川町	87.7%	2	揖斐郡揖斐川町	46.5	☆2	安八郡輪之内町	117.4%
3	加茂郡川辺町	86.3%	3	恵那市	44.1	3	養老郡養老町	90.2%
4	恵那市	81.1%	4	加茂郡白川町	42.6	4	揖斐郡揖斐川町	64.5%
5	加茂郡白川町	80.6%	5	加茂郡富加町	38.7	5	加茂郡東白川村	63.1%
6	加茂郡八百津町	63.6%	6	加茂郡東白川村	31.4	6	加茂郡白川町	59.4%
7	本巣市	55.7%	7	大野郡白川村	29.8	7	高山市	54.1%
8	美濃市	52.5%	8	加茂郡八百津町	28.4	8	郡上市	53.4%
9	飛騨市	51.3%	9	本巣市	27.1	9	恵那市	49.8%
10	加茂郡東白川村	50.2%	10	飛騨市	26.6	10	大野郡白川村	49.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

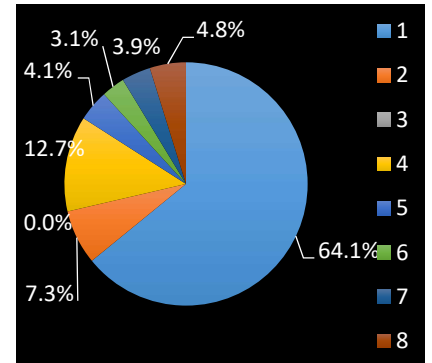
静岡県

再生可能エネルギー供給状況

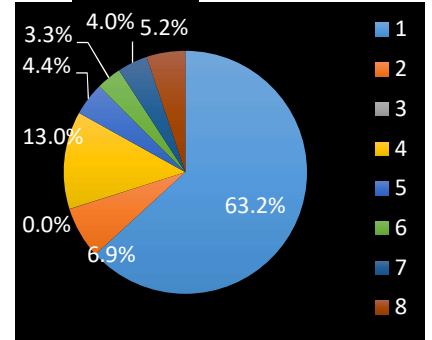
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

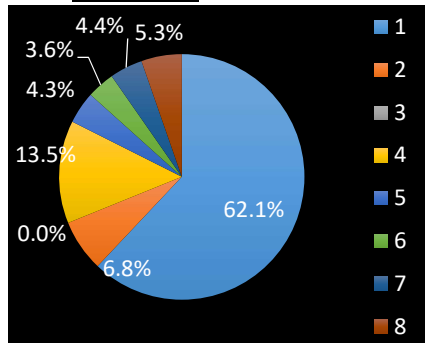
2019年度 42PJ 対前年度比 103.3%



2018年度 41PJ 対前年度比 104.3%



2017年度 39PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	27PJ	6	21	13	64.1%
2 風力発電	3PJ	7	17	10	7.3%
3 地熱発電	0PJ	9	11	10	0.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	8	24	6	12.7%
5 バイオマス発電	2PJ	25	42	29	4.1%
6 太陽熱利用	1PJ	6	22	12	3.1%
7 地熱利用	2PJ	4	8	3	3.9%
8.バイオマス熱利用	2PJ	7	19	13	4.8%
合計(供給量)	42PJ	4			
再生可能エネルギー自給率			20.51%	再エネ自給率ランク 26	
食料自給率			15.2%	食料自給率ランク 39	
供給密度(TJ/km ²)			5.394	供給密度ランク 12	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				205PJ	
区域面積				7,777km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡河津町	149.7%	1	賀茂郡河津町	107.1	1	焼津市	61.3%
☆2	賀茂郡南伊豆町	136.9%	2	賀茂郡南伊豆町	95.4	2	御前崎市	49.7%
☆3	駿東郡小山町	105.9%	3	駿東郡小山町	66.3	3	周智郡森町	48.3%
4	賀茂郡東伊豆町	77.2%	4	賀茂郡東伊豆町	65.5	4	袋井市	36.1%
5	牧之原市	67.7%	5	御前崎市	36.3	5	沼津市	32.4%
6	御前崎市	67.4%	6	牧之原市	32.9	6	菊川市	31.2%
7	富士宮市	47.1%	7	伊豆市	29.5	7	掛川市	31.0%
8	湖西市	41.9%	8	富士宮市	24.2	8	駿東郡小山町	30.5%
9	菊川市	41.2%	9	下田市	20.9	9	牧之原市	29.3%
10	伊豆市	40.9%	10	菊川市	20.4	10	伊豆市	26.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

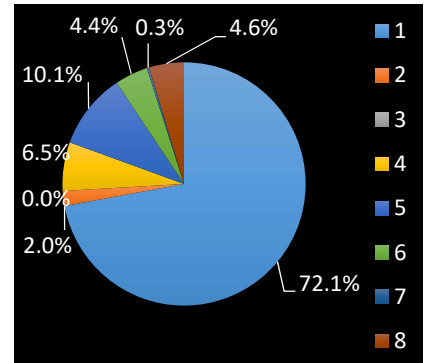
愛知県

再生可能エネルギー供給状況

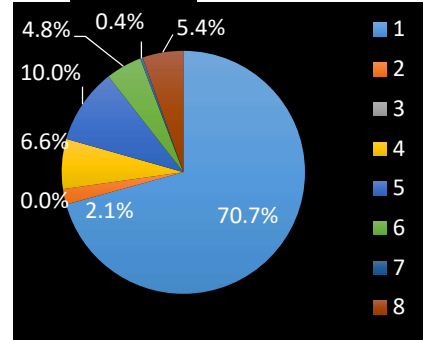
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

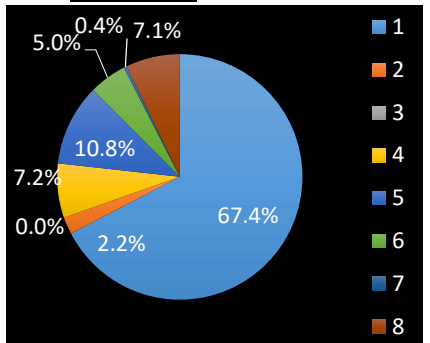
2019年度 48PJ 対前年度比 102.6%



2018年度 47PJ 対前年度比 109.5%



2017年度 43PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	35PJ	2	32	2	72.1%
2 風力発電	1PJ	19	29	19	2.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3PJ	16	33	11	6.5%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	8	32	4	10.1%
6 太陽熱利用	2PJ	1	24	4	4.4%
7 地熱利用	0PJ	29	35	30	0.3%
8.バイオマス熱利用	2PJ	6	34	5	4.6%
合計(供給量)	48PJ	3			
再生可能エネルギー自給率			12.05%	再エネ自給率ランク	38
食料自給率			11.2%	食料自給率ランク	43
供給密度(TJ/km ²)			9.292	供給密度ランク	3
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				399PJ	
区域面積				5,170km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	田原市	95.5%	1	田原市	52.5	☆1	海部郡飛島村	267.1%
2	知多郡武豊町	66.7%	2	海部郡飛島村	42.4	☆2	知多郡南知多町	172.8%
3	知多郡美浜町	61.5%	3	知多郡美浜町	33.7	☆3	田原市	130.9%
4	海部郡飛島村	49.9%	4	知多郡武豊町	26.2	☆4	北設楽郡設楽町	115.4%
5	新城市	47.6%	5	新城市	22.2	5	弥富市	71.0%
6	豊田市	30.8%	6	北設楽郡設楽町	16.1	6	愛西市	71.0%
7	弥富市	29.8%	7	豊田市	15.2	7	新城市	48.9%
8	知多郡阿久比町	28.8%	8	弥富市	14.3	8	西尾市	44.5%
9	知多郡東浦町	26.7%	9	常滑市	13.1	9	知多郡美浜町	40.2%
10	常滑市	25.6%	10	知多郡南知多町	13.0	10	額田郡幸田町	32.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

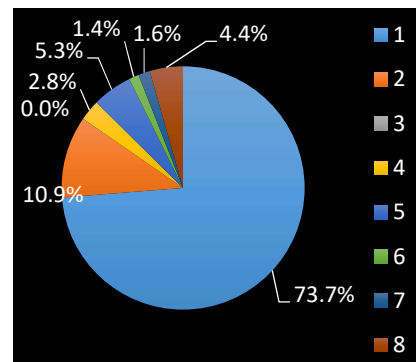
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2019年度 36PJ 対前年度比 104.5%

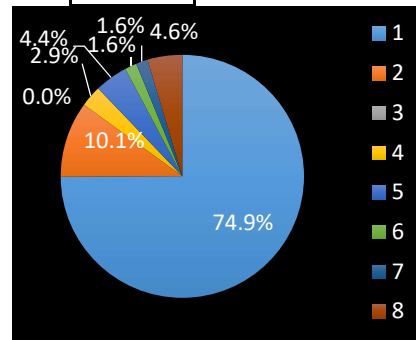


再生可能エネルギー供給状況

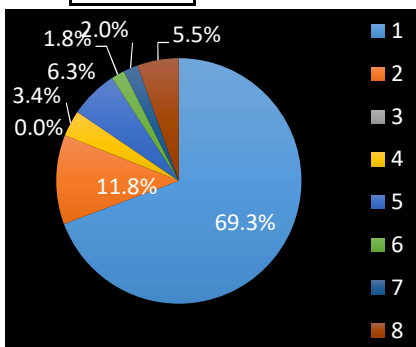
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 35PJ 対前年度比 120.7%



2017年度 29PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	27PJ	7	2	8	73.7%
○ 2 風力発電	4PJ	5	5	3	10.9%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	35	32	36	2.8%
5 バイオマス発電	2PJ	20	20	16	5.3%
6 太陽熱利用	0PJ	27	27	27	1.4%
7 地熱利用	1PJ	14	17	9	1.6%
8.バイオマス熱利用	2PJ	10	11	11	4.4%
合計(供給量)	36PJ	10			
再生可能エネルギー自給率			34.03%	再エネ自給率ランク 6	
食料自給率			37.8%	食料自給率ランク 25	
供給密度(TJ/km ²)			6.276	供給密度ランク 9	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				106PJ	
区域面積				5,774km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	354.7%	1	度会郡度会町	162.4	☆1	度会郡南伊勢町	354.1%
☆2	多気郡大台町	132.4%	2	多気郡大台町	85.5	☆2	桑名郡木曾岬町	124.6%
☆3	多気郡多気町	120.5%	3	三重郡川越町	78.4	☆3	度会郡玉城町	116.0%
4	伊賀市	89.1%	4	多気郡多気町	59.1	☆4	鳥羽市	108.6%
5	多気郡明和町	67.2%	5	伊賀市	53.4	☆5	多気郡多気町	102.3%
6	鳥羽市	65.8%	6	鳥羽市	46.9	☆6	多気郡明和町	101.9%
7	いなべ市	63.7%	7	いなべ市	32.2	7	北牟婁郡紀北町	90.4%
8	三重郡川越町	62.7%	8	北牟婁郡紀北町	31.7	8	南牟婁郡御浜町	86.8%
9	北牟婁郡紀北町	48.3%	9	多気郡明和町	30.6	9	伊賀市	84.1%
10	松阪市	47.9%	10	松阪市	28.8	10	度会郡大紀町	75.0%

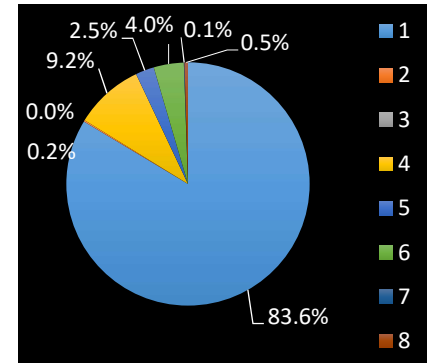
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2019年度 11PJ 対前年度比 99.9%



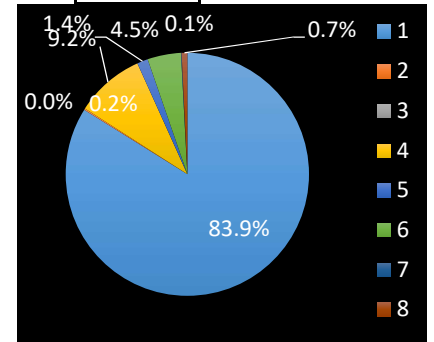
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

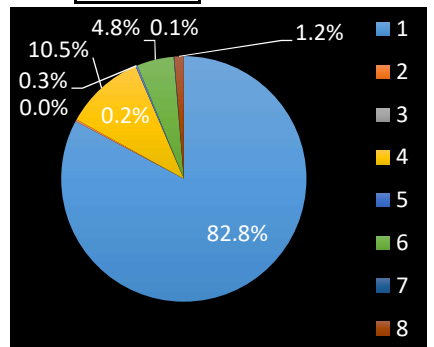
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	29	26	21	83.6%
2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	36	29	29	9.2%
5 バイオマス発電	0PJ	47	47	45	2.5%
6 太陽熱利用	0PJ	29	23	22	4.0%
7 地熱利用	0PJ	44	44	44	0.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	47	47	47	0.5%
合計(供給量)	11PJ	41			
再生可能エネルギー自給率			13.50%	再エネ自給率ランク 35	
食料自給率			47.0%	食料自給率ランク 21	
供給密度(TJ/km ²)			2.656	供給密度ランク 33	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				79PJ	
区域面積				4,017km ²	

2018年度 11PJ 対前年度比 114.4%



2017年度 9PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	49.5%	1	蒲生郡日野町	25.8	☆1	蒲生郡竜王町	155.0%
2	米原市	36.1%	2	米原市	17.6	☆2	犬上郡甲良町	145.7%
3	愛知郡愛荘町	30.9%	3	高島市	17.0	☆3	高島市	120.4%
4	甲賀市	30.9%	4	甲賀市	17.0	☆4	東近江市	107.3%
5	高島市	30.6%	5	蒲生郡竜王町	16.7	5	蒲生郡日野町	99.3%
6	犬上郡甲良町	27.6%	6	犬上郡多賀町	14.5	6	愛知郡愛荘町	94.5%
7	蒲生郡竜王町	27.3%	7	愛知郡愛荘町	13.7	7	長浜市	88.6%
8	犬上郡多賀町	25.0%	8	犬上郡甲良町	12.5	8	近江八幡市	84.9%
9	東近江市	22.8%	9	東近江市	11.6	9	犬上郡多賀町	77.7%
10	犬上郡豊郷町	16.9%	10	犬上郡豊郷町	9.1	10	犬上郡豊郷町	73.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

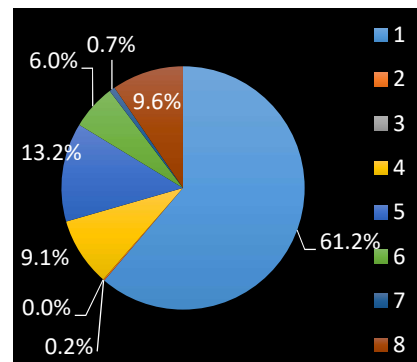
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2019年度 10PJ 対前年度比 100.8%



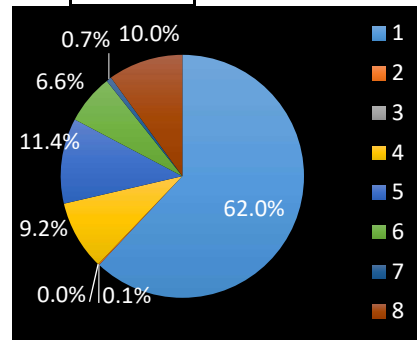
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

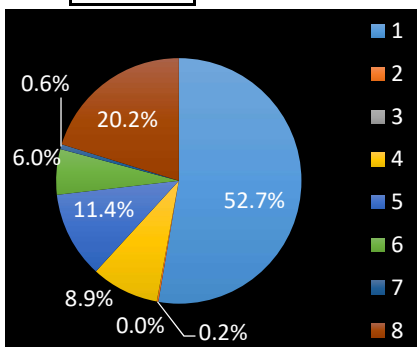
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	36	43	35	61.2%
2 風力発電	0PJ	37	36	37	0.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	38	37	32	9.1%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	32	41	24	13.2%
6 太陽熱利用	1PJ	24	30	15	6.0%
7 地熱利用	0PJ	32	34	33	0.7%
8. バイオマス熱利用	1PJ	27	32	18	9.6%
合計(供給量)	10PJ	43			
再生可能エネルギー自給率			6.52%	再エネ自給率ランク	44
食料自給率			11.3%	食料自給率ランク	42
供給密度(TJ/km ²)			2.130	供給密度ランク	40
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				150PJ	
区域面積				4,585km ²	

2018年度 10PJ 対前年度比 96.8%



2017年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	159.1%	1	相楽郡南山城村	81.9	☆1	与謝郡伊根町	238.8%
2	相楽郡笠置町	98.5%	2	相楽郡笠置町	54.1	☆2	船井郡京丹波町	128.2%
3	船井郡京丹波町	66.4%	3	船井郡京丹波町	38.2	3	京丹後市	93.3%
4	綴喜郡宇治田原町	45.5%	4	木津川市	28.4	4	南丹市	93.2%
5	南丹市	26.6%	5	綴喜郡宇治田原町	20.1	5	綾部市	76.4%
6	綾部市	20.6%	6	南丹市	14.3	6	相楽郡南山城村	58.9%
7	相楽郡和束町	20.6%	7	舞鶴市	13.4	7	与謝郡与謝野町	57.1%
8	舞鶴市	20.0%	8	与謝郡伊根町	12.4	8	宮津市	44.6%
9	与謝郡伊根町	18.8%	9	綾部市	10.9	9	福知山市	40.1%
10	木津川市	15.0%	10	久世郡久御山町	10.6	10	亀岡市	36.6%

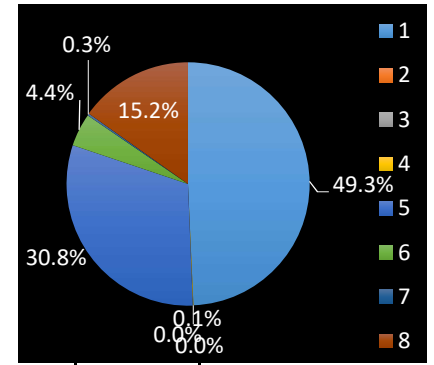
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

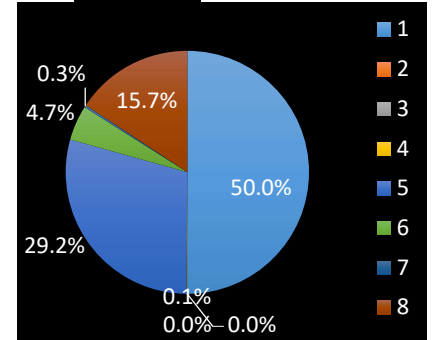
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

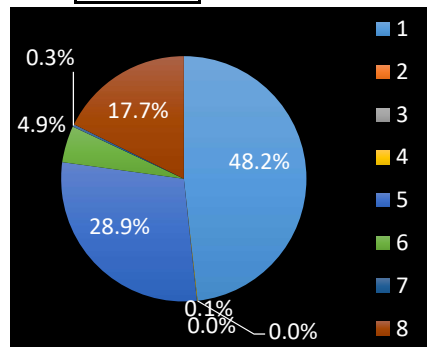
2019年度 **26PJ** 対前年度比 99.6%



2018年度 **26PJ** 対前年度比 107.5%



2017年度 **24PJ**



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	22	45	3	49.3%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	46	47	45	0.1%
◎ 5 バイオマス発電	8PJ	4	24	2	30.8%
6 太陽熱利用	1PJ	8	38	1	4.4%
7 地熱利用	0PJ	33	42	25	0.3%
○ 8.バイオマス熱利用	4PJ	1	27	1	15.2%
合計(供給量)	26PJ	21			
再生可能エネルギー自給率			4.87%	再エネ自給率ランク 46	
食料自給率			1.3%	食料自給率ランク 46	
供給密度(TJ/km ²)			13.477	供給密度ランク 1	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				527PJ	
区域面積				1,905km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	40.7%	1	泉南郡岬町	20.6	☆1	豊能郡能勢町	123.9%
2	豊能郡能勢町	23.5%	2	豊能郡能勢町	14.4	2	南河内郡河南町	32.8%
3	豊能郡豊能町	17.2%	3	南河内郡河南町	8.0	3	南河内郡千早赤阪村	23.7%
4	南河内郡千早赤阪村	16.4%	4	南河内郡千早赤阪村	7.6	4	南河内郡太子町	10.9%
5	南河内郡河南町	15.7%	5	柏原市	7.1	5	豊能郡豊能町	10.9%
6	泉南市	15.6%	6	泉南市	7.0	6	泉南市	7.2%
7	柏原市	15.3%	7	豊能郡豊能町	6.0	7	泉佐野市	7.1%
8	四條畷市	13.4%	8	四條畷市	5.6	8	泉南郡岬町	5.5%
9	泉大津市	11.3%	9	泉大津市	5.4	9	富田林市	4.9%
10	南河内郡太子町	11.2%	10	茨木市	4.8	10	岸和田市	4.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

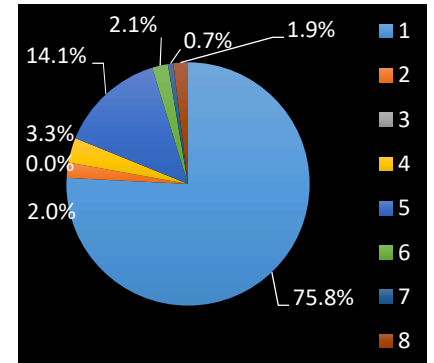
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

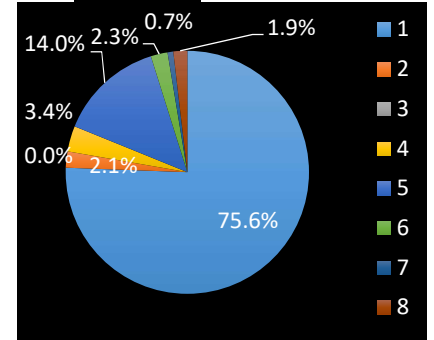
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	30PJ	4	27	12	75.8%
2 風力発電	1PJ	21	25	26	2.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	32	38	37	3.3%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	5	16	8	14.1%
6 太陽熱利用	1PJ	13	31	24	2.1%
7 地熱利用	0PJ	22	28	26	0.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	33	44	32	1.9%
合計(供給量)	40PJ	6			
再生可能エネルギー自給率			14.85%	再エネ自給率ランク	33
食料自給率			14.8%	食料自給率ランク	40
供給密度(TJ/km ²)			4.762	供給密度ランク	16
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				269PJ	
区域面積				8,401km ²	

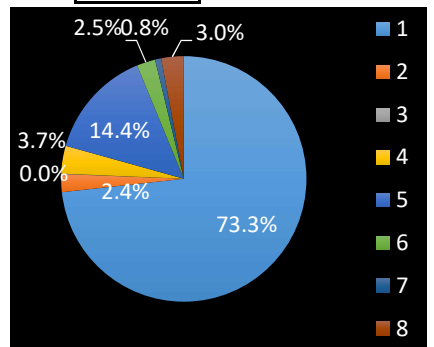
2019年度 40PJ 対前年度比 102.0%



2018年度 39PJ 対前年度比 111.0%



2017年度 35PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	淡路市	128.8%	1	淡路市	61.6	☆1	南あわじ市	128.6%
☆2	佐用郡佐用町	101.4%	2	佐用郡佐用町	51.1	☆2	篠山市	101.8%
☆3	神崎郡神河町	100.1%	3	赤穂市	42.4	3	佐用郡佐用町	95.9%
4	赤穂市	91.4%	4	神崎郡神河町	41.7	4	美方郡新温泉町	91.8%
5	加西市	85.7%	5	南あわじ市	35.7	5	加西市	89.6%
6	南あわじ市	77.9%	6	加西市	34.2	6	加東市	81.9%
7	宍粟市	68.3%	7	宍粟市	32.7	7	丹波市	81.4%
8	多可郡多可町	67.7%	8	丹波市	28.1	8	赤穂郡上郡町	80.2%
9	丹波市	64.1%	9	加東市	27.6	9	美方郡香美町	77.3%
10	加東市	58.3%	10	多可郡多可町	25.0	10	淡路市	74.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

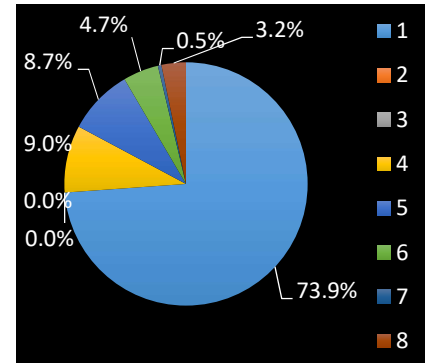
奈良県

再生可能エネルギー供給状況

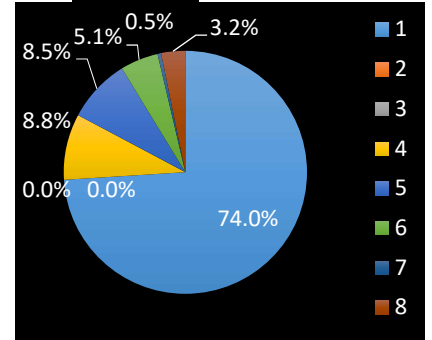
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

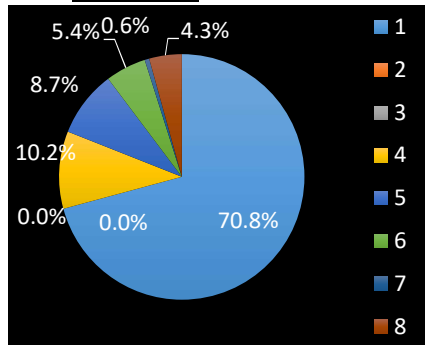
2019年度 8PJ 対前年度比 98.1%



2018年度 8PJ 対前年度比 116.2%



2017年度 7PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	37	33	32	73.9%
2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	39	31	33	9.0%
5 バイオマス発電	1PJ	41	38	35	8.7%
6 太陽熱利用	0PJ	31	25	23	4.7%
7 地熱利用	0PJ	39	33	38	0.5%
8. バイオマス熱利用	0PJ	43	40	38	3.2%
合計(供給量)	8PJ	45			
再生可能エネルギー自給率			11.04%	再エネ自給率ランク	41
食料自給率			13.2%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			2.171	供給密度ランク	39
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				73PJ	
区域面積				3,691km ²	

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	289.6%	1	吉野郡上北山村	352.0	☆1	宇陀郡御杖村	107.1%
2	吉野郡吉野町	98.5%	2	吉野郡吉野町	92.3	2	宇陀郡曾爾村	80.3%
3	吉野郡大淀町	72.1%	3	吉野郡大淀町	39.0	3	山辺郡山添村	71.9%
4	山辺郡山添村	38.8%	4	山辺郡山添村	21.6	4	高市郡明日香村	62.4%
5	五條市	31.2%	5	吉野郡天川村	18.8	5	五條市	62.2%
6	宇陀郡御杖村	29.7%	6	宇陀郡御杖村	18.2	6	宇陀市	45.3%
7	御所市	28.8%	7	五條市	17.2	7	御所市	41.4%
8	吉野郡下市町	25.6%	8	御所市	15.5	8	磯城郡田原本町	35.0%
9	宇陀市	25.1%	9	吉野郡下市町	15.3	9	磯城郡三宅町	32.2%
10	高市郡高取町	20.5%	10	吉野郡十津川村	12.1	10	高市郡高取町	31.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

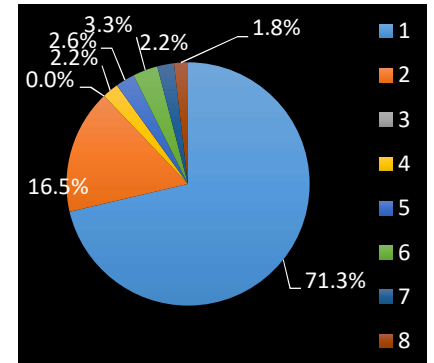
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

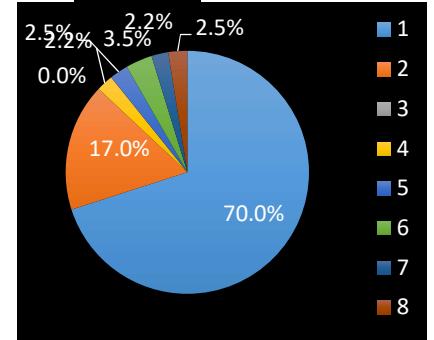
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	31	16	28	71.3%
○ 2 風力発電	2PJ	13	6	8	16.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	42	39	43	2.2%
5 バイオマス発電	0PJ	46	46	46	2.6%
6 太陽熱利用	0PJ	30	16	29	3.3%
7 地熱利用	0PJ	23	18	20	2.2%
8.バイオマス熱利用	0PJ	44	39	42	1.8%
合計(供給量)	12PJ	39			
再生可能エネルギー自給率			21.28%	再エネ自給率ランク	25
食料自給率			26.3%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			2.527	供給密度ランク	36
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				56PJ	
区域面積				4,725km ²	

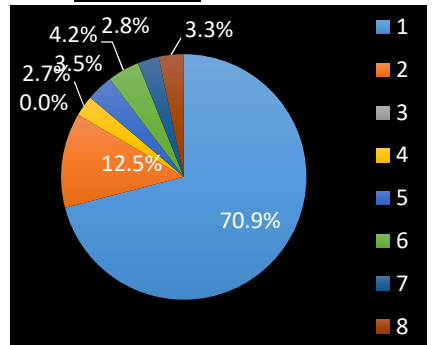
2019年度 12PJ 対前年度比 100.8%



2018年度 12PJ 対前年度比 124.1%



2017年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡印南町	227.7%	1	日高郡印南町	110.8	☆1	日高郡みなべ町	129.1%
☆2	日高郡日高川町	132.9%	2	日高郡日高川町	77.3	2	日高郡印南町	92.8%
☆3	有田郡広川町	122.2%	3	有田郡広川町	66.8	3	日高郡日高川町	88.3%
4	日高郡由良町	87.4%	4	西牟婁郡さみ町	58.8	4	有田郡広川町	80.7%
5	西牟婁郡さみ町	83.8%	5	日高郡由良町	50.3	5	有田郡有田川町	76.8%
6	西牟婁郡上富田町	63.8%	6	西牟婁郡上富田町	32.9	6	日高郡日高川町	76.3%
7	有田郡有田川町	59.9%	7	有田郡有田川町	32.3	7	伊都郡かつらぎ町	63.2%
8	有田市	40.0%	8	有田市	22.4	8	紀の川市	54.1%
9	伊都郡九度山町	37.6%	9	伊都郡九度山町	19.2	9	伊都郡九度山町	47.4%
10	日高郡日高川町	34.0%	10	日高郡日高川町	17.0	10	有田郡湯浅町	47.0%

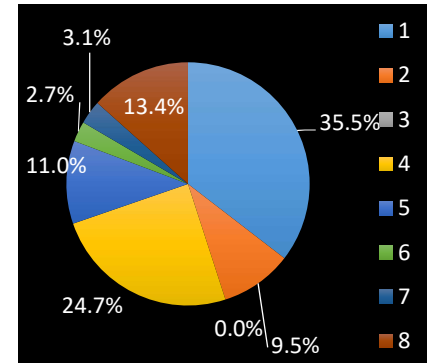
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

2019年度 9PJ 対前年度比 102.2%

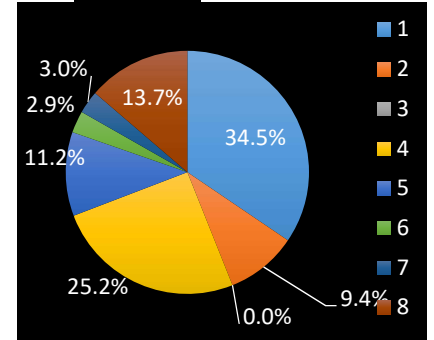


再生可能エネルギー供給状況

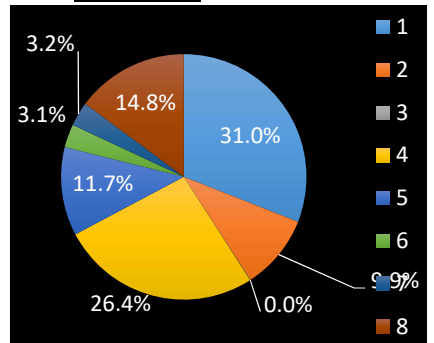
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 9PJ 対前年度比 104.8%



2017年度 9PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	43	30	37	35.5%
2 風力発電	1PJ	20	14	14	9.5%
3 地熱発電	0PJ	13	12	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	21	6	7	24.7%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	35	10	20	11.0%
6 太陽熱利用	0PJ	37	17	33	2.7%
7 地熱利用	0PJ	21	7	13	3.1%
○ 8 バイオマス熱利用	1PJ	18	2	10	13.4%
合計(供給量)	9PJ	44			
再生可能エネルギー自給率			26.02%	再エネ自給率ランク 20	
食料自給率			59.9%	食料自給率ランク 17	
供給密度(TJ/km ²)			2.670	供給密度ランク 31	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				36PJ	
区域面積				3,507km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	126.3%	1	八頭郡若桜町	83.8	☆1	日野郡日南町	308.5%
☆2	西伯郡伯耆町	109.5%	2	西伯郡伯耆町	63.5	☆2	日野郡江府町	191.9%
3	西伯郡大山町	88.7%	3	西伯郡大山町	46.6	☆3	西伯郡大山町	169.7%
4	東伯郡三朝町	65.5%	4	東伯郡三朝町	39.3	☆4	境港市	161.6%
5	日野郡江府町	64.8%	5	日野郡日南町	36.7	☆5	東伯郡琴浦町	130.3%
6	八頭郡八頭町	54.2%	6	日野郡江府町	34.5	☆6	西伯郡伯耆町	125.5%
7	東伯郡北栄町	47.8%	7	境港市	28.8	☆7	東伯郡北栄町	122.1%
8	東伯郡琴浦町	45.3%	8	八頭郡八頭町	28.7	☆8	岩美郡岩美町	109.5%
9	境港市	36.9%	9	東伯郡琴浦町	24.6	☆9	西伯郡南部町	101.0%
10	八頭郡智頭町	31.2%	10	東伯郡北栄町	24.1	☆10	八頭郡八頭町	100.3%

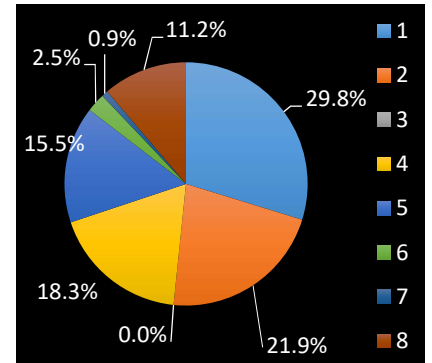
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

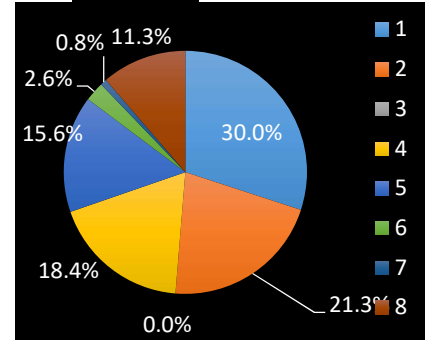
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

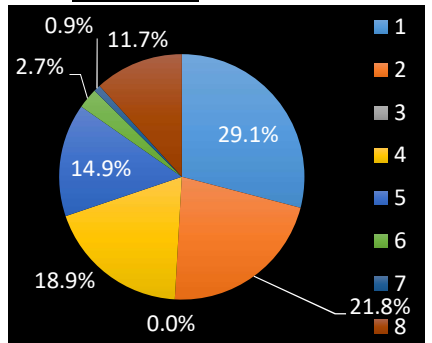
2019年度 12PJ 対前年度比 101.3%



2018年度 12PJ 対前年度比 103.0%



2017年度 12PJ



再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	42	34	43	29.8%
◎ 2 風力発電	3PJ	10	3	9	21.9%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	22	12	24	18.3%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	21	3	23	15.5%
6 太陽熱利用	0PJ	35	20	36	2.5%
7 地熱利用	0PJ	31	25	34	0.9%
○ 8.バイオマス熱利用	1PJ	14	3	19	11.2%
合計(供給量)	12PJ	38			
再生可能エネルギー自給率			26.16%	再エネ自給率ランク 19	
食料自給率			61.4%	食料自給率ランク 14	
供給密度(TJ/km ²)			1.811	供給密度ランク 41	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				6,708km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	137.9%	1	江津市	86.9	☆1	隠岐郡西ノ島町	555.3%
2	鹿足郡津和野町	66.5%	2	鹿足郡津和野町	50.7	☆2	飯石郡飯南町	304.9%
3	雲南市	53.8%	3	浜田市	38.3	☆3	隠岐郡隠岐の島町	298.3%
4	浜田市	46.4%	4	雲南市	30.9	☆4	仁多郡奥出雲町	211.1%
5	邑智郡美郷町	38.9%	5	邑智郡美郷町	28.3	☆5	邑智郡邑南町	181.3%
6	隠岐郡海士町	25.5%	6	隠岐郡海士町	22.0	☆6	鹿足郡吉賀町	139.3%
7	出雲市	22.8%	7	益田市	15.5	☆7	安来市	103.3%
8	益田市	22.1%	8	鹿足郡吉賀町	14.9	8	邑智郡美郷町	89.4%
9	鹿足郡吉賀町	20.2%	9	出雲市	13.4	9	鹿足郡津和野町	81.6%
10	安来市	18.2%	10	松江市	11.6	10	大田市	80.3%

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

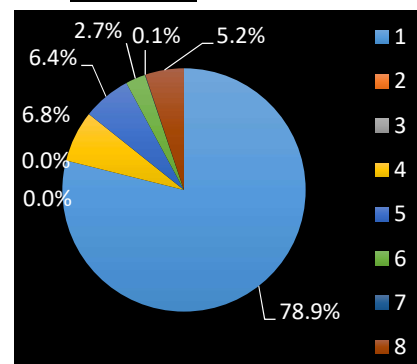
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

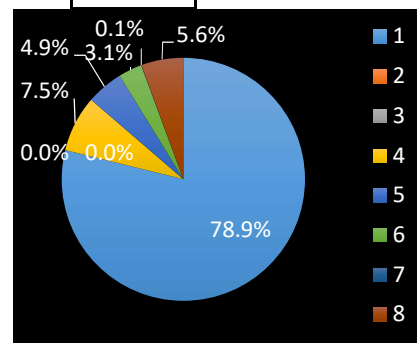
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	11	7	14	78.9%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	25	26	27	6.8%
5 バイオマス発電	2PJ	22	19	27	6.4%
6 太陽熱利用	1PJ	17	14	21	2.7%
7 地熱利用	0PJ	43	40	43	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	12	14	17	5.2%
合計(供給量)	28PJ	17			
再生可能エネルギー自給率			28.36%	再エネ自給率ランク 14	
食料自給率			33.4%	食料自給率ランク 28	
供給密度(TJ/km ²)			4.008	供給密度ランク 20	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				100PJ	
区域面積				7,107km ²	

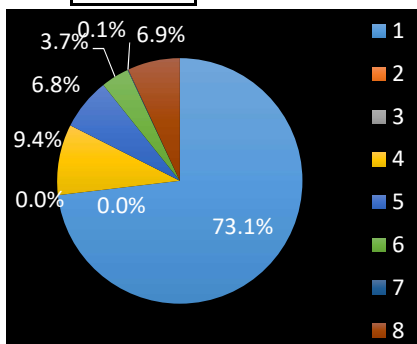
2019年度 28PJ 対前年度比 109.7%



2018年度 26PJ 対前年度比 125.1%



2017年度 21PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美作市	200.6%	1	岡山市	397.2	☆1	久米郡久米南町	477.9%
☆2	久米郡久米南町	199.2%	2	美作市	101.8	☆2	真庭郡新庄村	212.2%
☆3	瀬戸内市	155.5%	3	久米郡久米南町	101.7	☆3	加賀郡吉備中央町	197.2%
☆4	苫田郡鏡野町	139.0%	4	苫田郡鏡野町	83.4	☆4	勝田郡奈義町	174.3%
5	真庭市	99.5%	5	瀬戸内市	76.7	☆5	苫田郡鏡野町	146.6%
6	久米郡美咲町	86.6%	6	真庭市	53.0	☆6	勝田郡勝央町	119.4%
7	加賀郡吉備中央町	80.7%	7	勝田郡奈義町	51.9	7	真庭市	97.8%
8	勝田郡奈義町	79.4%	8	加賀郡吉備中央町	42.5	8	美作市	97.4%
9	和気郡和気町	53.1%	9	久米郡美咲町	42.1	9	英田郡西粟倉村	91.7%
10	新見市	50.4%	10	高梁市	27.2	10	新見市	91.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

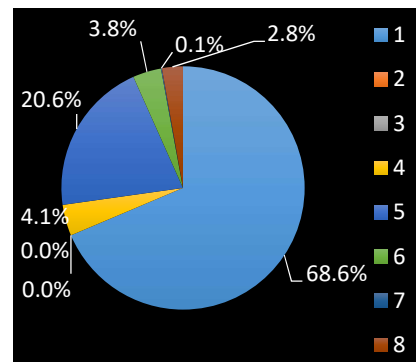
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

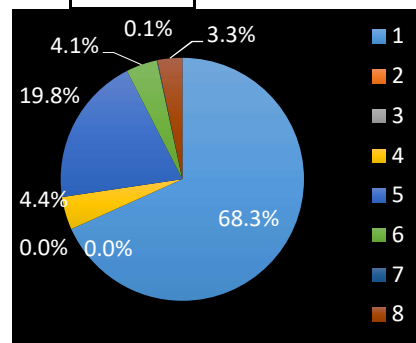
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	17	24	24	68.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	34	34	39	4.1%
◎ 5 バイオマス発電	5PJ	6	7	10	20.6%
6 太陽熱利用	1PJ	10	21	19	3.8%
7 地熱利用	0PJ	41	39	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	36	36	34	2.8%
合計(供給量)	25PJ	23			
再生可能エネルギー自給率			17.09%	再エネ自給率ランク	30
食料自給率			19.7%	食料自給率ランク	36
供給密度(TJ/km ²)			3.006	供給密度ランク	26
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				149PJ	
区域面積				8,480km ²	

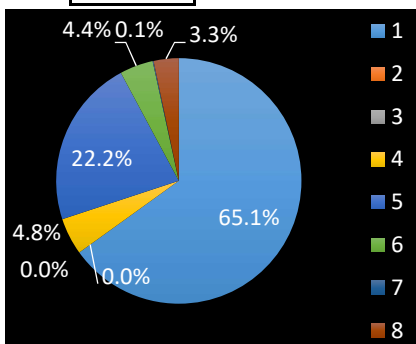
2019年度 25PJ 対前年度比 107.2%



2018年度 24PJ 対前年度比 111.0%



2017年度 21PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	神石郡神石高原町	73.3%	1	山県郡北広島町	49.8	☆1	世羅郡世羅町	253.2%
2	山県郡北広島町	71.2%	2	神石郡神石高原町	41.2	☆2	山県郡北広島町	214.3%
3	安芸高田市	51.3%	3	世羅郡世羅町	37.2	☆3	庄原市	202.6%
4	世羅郡世羅町	46.6%	4	庄原市	27.7	☆4	神石郡神石高原町	165.9%
5	庄原市	44.7%	5	安芸高田市	27.0	☆5	安芸高田市	155.0%
6	三次市	44.5%	6	三次市	26.3	☆6	三次市	121.8%
7	呉市	40.5%	7	豊田郡大崎上島町	23.5	☆7	江田島市	100.3%
8	豊田郡大崎上島町	39.2%	8	呉市	21.5	8	山県郡安芸太田町	66.0%
9	廿日市市	34.4%	9	東広島市	16.1	9	三原市	46.7%
10	東広島市	33.0%	10	三原市	16.1	10	東広島市	33.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

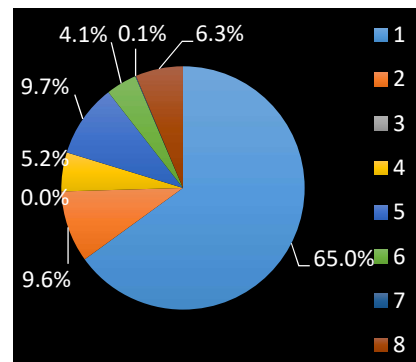
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

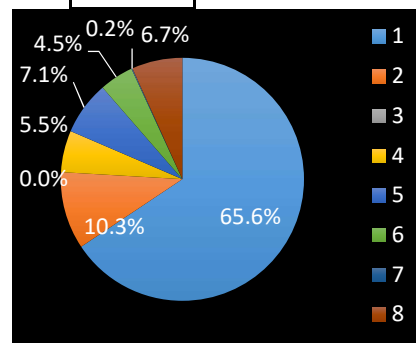
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	23	17	25	65.0%
2 風力発電	2PJ	15	15	12	9.6%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	37	30	38	5.2%
5 バイオマス発電	2PJ	23	13	19	9.7%
6 太陽熱利用	1PJ	16	5	16	4.1%
7 地熱利用	0PJ	42	37	41	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	19	13	21	6.3%
合計(供給量)	19PJ	29			
再生可能エネルギー自給率			23.34%	再エネ自給率ランク	23
食料自給率			27.8%	食料自給率ランク	30
供給密度(TJ/km ²)			3.047	供給密度ランク	24
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				80PJ	
区域面積				6,113km ²	

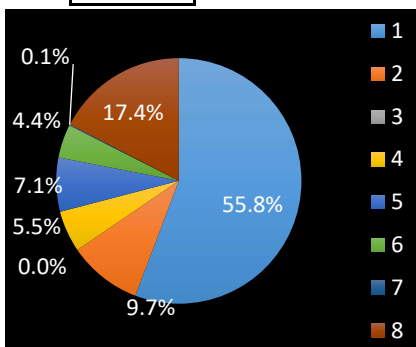
2019年度 19PJ 対前年度比 107.0%



2018年度 17PJ 対前年度比 99.5%



2017年度 17PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	熊毛郡平生町	103.8%	1	熊毛郡平生町	93.0	☆1	阿武郡阿武町	213.5%
2	美祢市	78.0%	2	美祢市	46.1	☆2	美祢市	117.9%
3	熊毛郡田布施町	37.9%	3	山陽小野田市	19.5	3	萩市	79.7%
4	山陽小野田市	37.3%	4	熊毛郡田布施町	16.4	4	長門市	78.0%
5	防府市	29.3%	5	防府市	15.8	5	山口市	45.9%
6	大島郡周防大島町	27.2%	6	大島郡周防大島町	15.6	6	大島郡周防大島町	36.4%
7	岩国市	23.1%	7	萩市	15.0	7	柳井市	34.1%
8	下関市	23.1%	8	阿武郡阿武町	13.9	8	熊毛郡田布施町	31.4%
9	宇部市	21.0%	9	下関市	13.9	9	下関市	26.8%
10	萩市	20.5%	10	岩国市	12.6	10	山陽小野田市	22.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

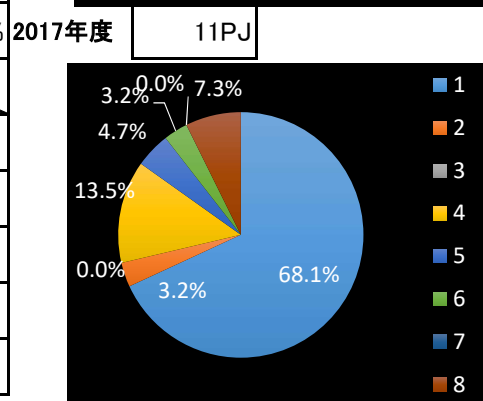
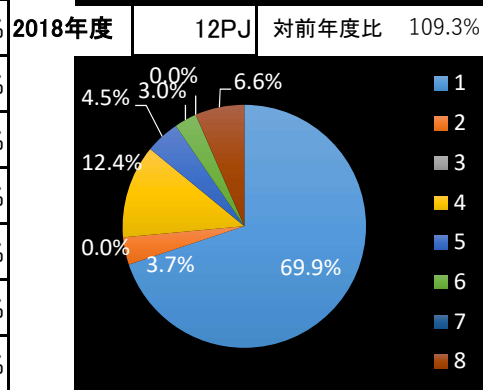
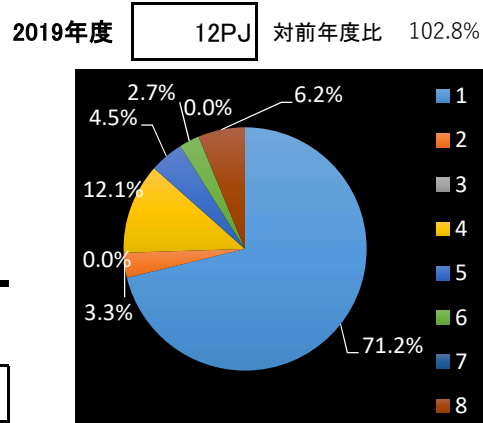
徳島県

再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	30	8	23	71.2%
2 風力発電	0PJ	28	21	25	3.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	29	17	23	12.1%
5 バイオマス発電	1PJ	44	30	40	4.5%
6 太陽熱利用	0PJ	34	11	31	2.7%
7 地熱利用	0PJ	47	46	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	34	9	23	6.2%
合計(供給量)	12PJ	37			
再生可能エネルギー自給率			28.71%	再エネ自給率ランク	13
食料自給率			38.5%	食料自給率ランク	26
供給密度(TJ/km ²)			2.964	供給密度ランク	29
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				43PJ	
区域面積				4,147km ²	



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	490.4%	1	名東郡佐那河内村	199.1	☆1	阿波市	126.1%
☆2	三好市	109.8%	2	三好市	66.9	2	海部郡海陽町	80.8%
☆3	阿波市	102.0%	3	阿波市	43.2	3	板野郡上板町	77.7%
4	板野郡上板町	62.8%	4	小松島市	36.9	4	勝浦郡勝浦町	77.5%
5	美馬市	54.7%	5	板野郡上板町	29.3	5	名東郡佐那河内村	71.5%
6	小松島市	46.7%	6	美馬市	28.4	6	阿南市	62.9%
7	阿南市	45.4%	7	那賀郡那賀町	25.9	7	板野郡板野町	57.2%
8	美馬郡つるぎ町	41.5%	8	阿南市	22.4	8	鳴門市	57.2%
9	那賀郡那賀町	40.1%	9	美馬郡つるぎ町	22.3	9	小松島市	50.2%
10	吉野川市	33.5%	10	吉野川市	16.5	10	美馬市	49.2%

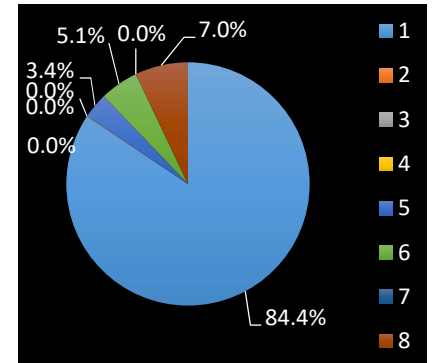
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2019年度 11PJ 対前年度比 100.0%



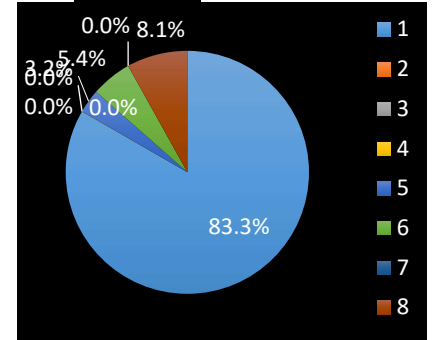
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

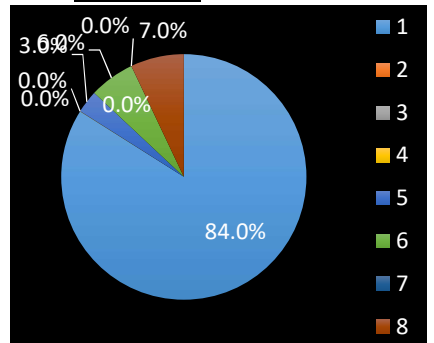
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	26	14	5	84.4%
2 風力発電	0PJ	39	39	39	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	47	46	47	0.0%
5 バイオマス発電	0PJ	45	44	30	3.4%
6 太陽熱利用	1PJ	25	4	7	5.1%
7 地熱利用	0PJ	46	47	46	0.0%
8. バイオマス熱利用	1PJ	32	16	6	7.0%
合計(供給量)	11PJ	40			
再生可能エネルギー自給率			19.16%	再エネ自給率ランク 28	
食料自給率			31.8%	食料自給率ランク 29	
供給密度(TJ/km ²)			6.092	供給密度ランク 10	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				60PJ	
区域面積				1,877km ²	

2018年度 11PJ 対前年度比 115.0%



2017年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	仲多度郡まんのう町	52.8%	1	三豊市	30.4	☆1	仲多度郡まんのう町	110.7%
2	三豊市	51.1%	2	仲多度郡まんのう町	27.5	2	綾歌郡綾川町	92.1%
3	さぬき市	36.5%	3	さぬき市	20.4	3	香川郡直島町	84.3%
4	綾歌郡綾川町	33.4%	4	綾歌郡綾川町	18.7	4	観音寺市	68.1%
5	観音寺市	26.2%	5	坂出市	16.9	5	三豊市	63.5%
6	坂出市	26.0%	6	観音寺市	15.4	6	東かがわ市	61.8%
7	木田郡三木町	25.9%	7	東かがわ市	15.1	7	さぬき市	58.0%
8	東かがわ市	24.7%	8	木田郡三木町	13.9	8	木田郡三木町	53.5%
9	小豆郡小豆島町	21.3%	9	小豆郡小豆島町	12.2	9	善通寺市	33.8%
10	仲多度郡多度津町	16.4%	10	香川郡直島町	9.6	10	仲多度郡琴平町	32.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

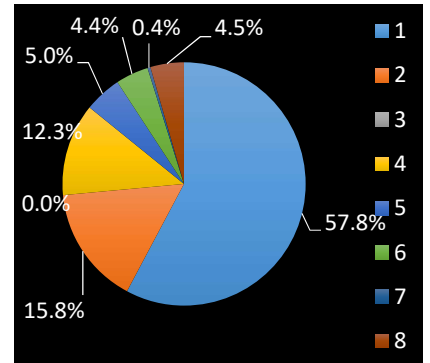
愛媛県

再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

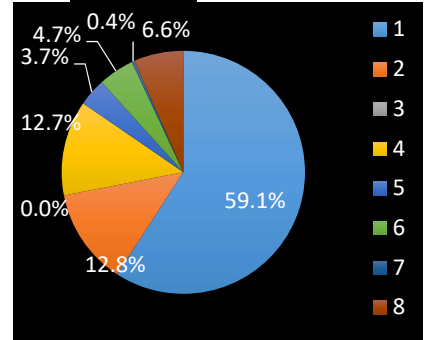
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 17PJ 対前年度比 103.1%

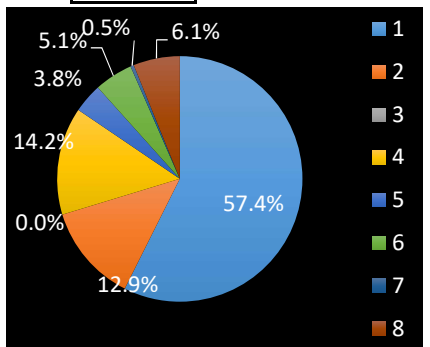


エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	25	23	30	57.8%
○ 2 風力発電	3PJ	8	7	6	15.8%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	24	23	21	12.3%
5 バイオマス発電	1PJ	37	35	39	5.0%
6 太陽熱利用	1PJ	19	6	14	4.4%
7 地熱利用	0PJ	34	30	37	0.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	35	20	28	4.5%
合計(供給量)	17PJ	31			
再生可能エネルギー自給率			21.62%	再エネ自給率ランク 24	
食料自給率			34.6%	食料自給率ランク 27	
供給密度(TJ/km ²)			3.000	供給密度ランク 27	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				79PJ	
区域面積				5,676km ²	

2018年度 17PJ 対前年度比 112.4%



2017年度 15PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	249.1%	1	西宇和郡伊方町	169.4	☆1	南宇和郡愛南町	249.4%
☆2	上浮穴郡久万高原町	151.2%	2	上浮穴郡久万高原町	125.0	☆2	北宇和郡松野町	121.9%
3	西条市	51.6%	3	南宇和郡愛南町	31.6	☆3	西予市	113.7%
4	南宇和郡愛南町	44.5%	4	西条市	29.5	☆4	北宇和郡鬼北町	105.4%
5	西予市	37.9%	5	西予市	23.4	☆5	上浮穴郡久万高原町	104.7%
6	北宇和郡松野町	27.4%	6	北宇和郡松野町	15.6	6	西宇和郡伊方町	94.5%
7	北宇和郡鬼北町	23.1%	7	大洲市	13.8	7	宇和島市	86.2%
8	今治市	21.7%	8	宇和島市	13.8	8	八幡浜市	66.1%
9	大洲市	21.4%	9	北宇和郡鬼北町	13.7	9	西条市	62.9%
10	宇和島市	21.2%	10	今治市	12.1	10	喜多郡内子町	62.5%

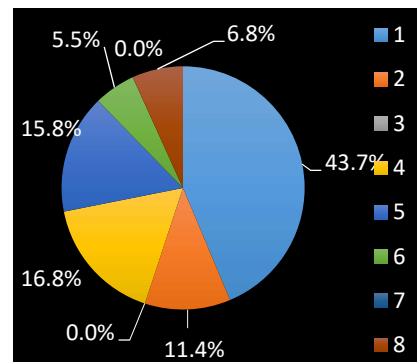
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

2019年度 13PJ 対前年度比 102.1%



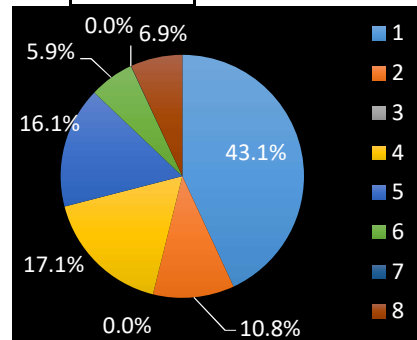
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

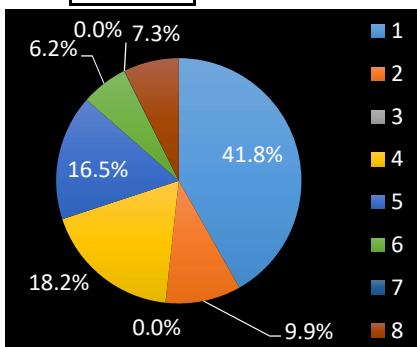
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	39	22	39	43.7%
○ 2 風力発電	1PJ	16	8	17	11.4%
○ 3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	23	11	26	16.8%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	19	2	21	15.8%
6 太陽熱利用	1PJ	20	2	25	5.5%
7 地熱利用	0PJ	45	45	45	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	29	6	30	6.8%
合計(供給量)	13PJ	34			
再生可能エネルギー自給率			29.53%	再エネ自給率ランク 11	
食料自給率			41.5%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			1.810	供給密度ランク 42	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				44PJ	
区域面積				7,104km ²	

2018年度 13PJ 対前年度比 106.6%



2017年度 12PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	幡多郡大月町	232.3%	1	長岡郡大豊町	245.8	☆1	幡多郡大月町	287.3%
☆2	吾川郡仁淀川町	219.9%	2	幡多郡大月町	216.1	☆2	幡多郡三原村	200.7%
☆3	長岡郡大豊町	204.4%	3	吾川郡仁淀川町	155.1	☆3	幡多郡黒潮町	149.4%
☆4	高岡郡橋原町	149.3%	4	高岡郡橋原町	89.4	☆4	高岡郡四万十町	145.8%
☆5	高岡郡津野町	104.9%	5	高岡郡津野町	51.7	☆5	安芸郡東洋町	135.9%
6	香美市	88.4%	6	香美市	51.5	☆6	安芸郡北川村	130.1%
7	高岡郡佐川町	59.6%	7	幡多郡三原村	43.3	☆7	土佐郡土佐町	129.5%
8	宿毛市	54.7%	8	宿毛市	36.6	☆8	室戸市	107.4%
9	室戸市	50.3%	9	安芸郡芸西村	36.2	☆9	宿毛市	103.9%
10	安芸郡芸西村	46.8%	10	室戸市	34.3	☆10	高岡郡中土佐町	103.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

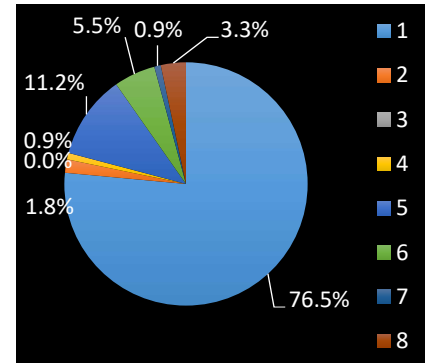
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

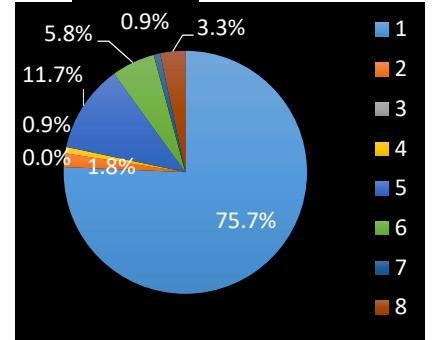
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25PJ	9	28	7	76.5%
2 風力発電	1PJ	22	30	24	1.8%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	41	42	42	0.9%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	10	28	7	11.2%
6 太陽熱利用	2PJ	2	18	6	5.5%
7 地熱利用	0PJ	20	27	19	0.9%
8.バイオマス熱利用	1PJ	21	38	16	3.3%
合計(供給量)	33PJ	13			
再生可能エネルギー自給率			12.30%	再エネ自給率ランク	37
食料自給率			18.3%	食料自給率ランク	37
供給密度(TJ/km ²)			6.481	供給密度ランク	8
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				270PJ	
区域面積				5,127km ²	

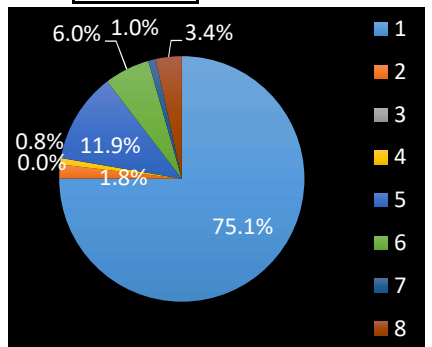
2019年度 33PJ 対前年度比 99.8%



2018年度 33PJ 対前年度比 105.5%



2017年度 32PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田川郡赤村	104.2%	1	田川郡赤村	44.8	#N/A	#N/A	#N/A
2	田川郡川崎町	90.8%	2	田川郡川崎町	42.8	#N/A	#N/A	#N/A
3	嘉麻市	76.9%	3	嘉麻市	34.3	#N/A	#N/A	#N/A
4	宮若市	71.3%	4	宮若市	31.5	#N/A	#N/A	#N/A
5	田川郡大任町	68.0%	5	田川郡大任町	29.3	#N/A	#N/A	#N/A
6	鞍手郡小竹町	62.8%	6	鞍手郡小竹町	27.5	#N/A	#N/A	#N/A
7	築上郡上毛町	60.6%	7	築上郡上毛町	26.6	#N/A	#N/A	#N/A
8	みやま市	53.6%	8	朝倉市	21.4	#N/A	#N/A	#N/A
9	嘉穂郡桂川町	51.1%	9	京都郡みやこ町	21.4	#N/A	#N/A	#N/A
10	京都郡みやこ町	47.3%	10	田川郡添田町	20.4	#N/A	#N/A	#N/A

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

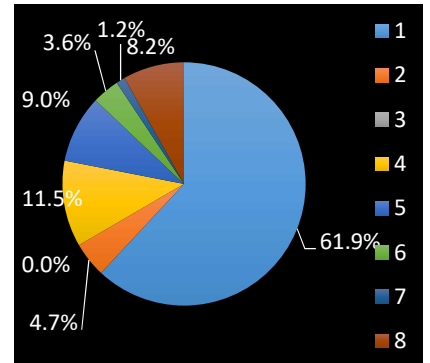
佐賀県

再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

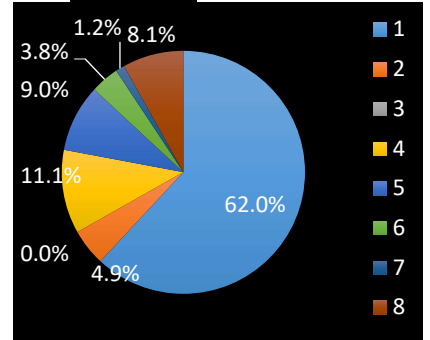
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2019年度 12PJ 対前年度比 100.5%

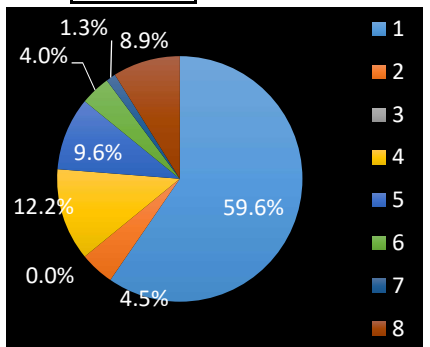


エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	34	15	15	61.9%
2 風力発電	1PJ	24	18	15	4.7%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	30	22	12	11.5%
5 バイオマス発電	1PJ	34	14	12	9.0%
6 太陽熱利用	0PJ	28	9	9	3.6%
7 地熱利用	0PJ	28	22	18	1.2%
8 バイオマス熱利用	1PJ	23	5	8	8.2%
合計(供給量)	12PJ	36			
再生可能エネルギー自給率			24.67%	再エネ自給率ランク 21	
食料自給率			66.2%	食料自給率ランク 7	
供給密度(TJ/km ²)			5.100	供給密度ランク 14	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				50PJ	
区域面積				2,441km ²	

2018年度 12PJ 対前年度比 110.0%



2017年度 11PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	伊万里市	54.8%	1	伊万里市	37.3	☆1	杵島郡白石町	286.6%
2	東松浦郡玄海町	44.6%	2	東松浦郡玄海町	29.5	☆2	神崎市	159.7%
3	神崎市	40.8%	3	藤津郡太良町	25.9	☆3	藤津郡太良町	146.3%
4	藤津郡太良町	40.7%	4	神崎市	22.1	☆4	東松浦郡玄海町	130.9%
5	多久市	37.2%	5	嬉野市	20.6	☆5	杵島郡江北町	121.6%
6	嬉野市	34.2%	6	多久市	19.2	☆6	三養基郡みやき町	116.1%
7	三養基郡上峰町	33.4%	7	唐津市	18.4	☆7	小城市	112.7%
8	唐津市	31.2%	8	三養基郡上峰町	17.5	8	鹿島市	84.2%
9	杵島郡大町町	29.7%	9	杵島郡大町町	16.8	9	神埼郡吉野ヶ里町	75.7%
10	三養基郡みやき町	25.7%	10	佐賀市	13.9	10	三養基郡上峰町	68.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

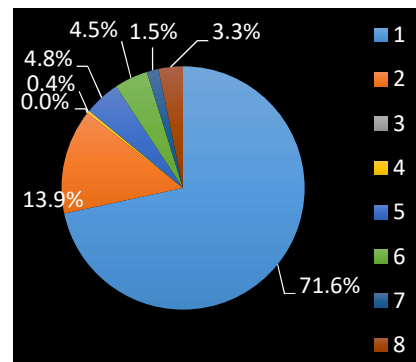
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2019年度 15PJ 対前年度比 107.4%

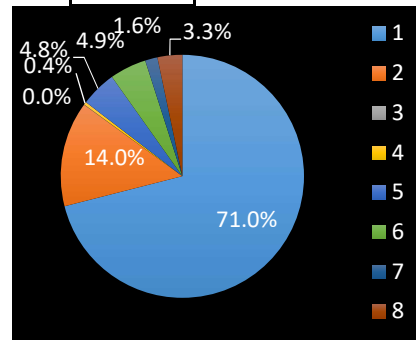


再生可能エネルギー供給状況

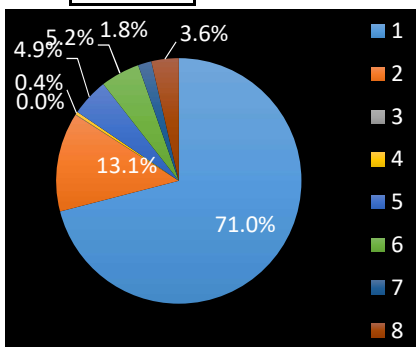
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 14PJ 対前年度比 109.9%



2017年度 12PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	24	20	18	71.6%
○ 2 風力発電	2PJ	12	13	5	13.9%
3 地熱発電	0PJ	10	8	9	0.0%
4 小水力発電	0PJ	44	43	44	0.4%
5 バイオマス発電	1PJ	42	40	36	4.8%
6 太陽熱利用	1PJ	23	10	13	4.5%
7 地熱利用	0PJ	24	21	21	1.5%
8.バイオマス熱利用	0PJ	40	33	31	3.3%
合計(供給量)	15PJ	32			
再生可能エネルギー自給率			18.75%	再エネ自給率ランク	29
食料自給率			43.6%	食料自給率ランク	20
供給密度(TJ/km ²)			3.561	供給密度ランク	21
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				78PJ	
区域面積				4,131km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	56.3%	1	平戸市	34.8	☆1	平戸市	222.2%
2	西海市	49.8%	2	西海市	29.9	☆2	南松浦郡新上五島町	215.5%
3	東彼杵郡東彼杵町	44.6%	3	五島市	29.6	☆3	雲仙市	174.7%
4	五島市	41.6%	4	雲仙市	19.2	☆4	南島原市	120.8%
5	北松浦郡佐々町	36.1%	5	東彼杵郡東彼杵町	19.1	5	北松浦郡小値賀町	96.2%
6	南島原市	31.4%	6	南松浦郡新上五島町	17.4	6	壱岐市	88.5%
7	雲仙市	30.7%	7	南島原市	16.9	7	松浦市	85.2%
8	大村市	28.0%	8	北松浦郡佐々町	16.6	8	五島市	77.7%
9	松浦市	26.6%	9	松浦市	16.5	9	東彼杵郡東彼杵町	75.3%
10	南松浦郡新上五島町	25.2%	10	大村市	14.7	10	西海市	69.3%

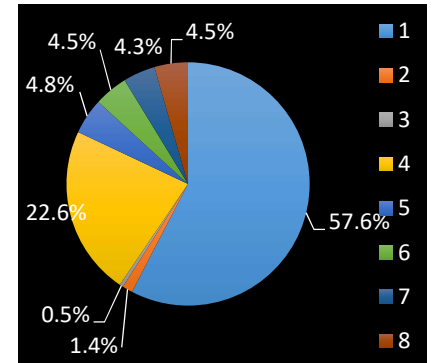
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

2019年度 30PJ 対前年度比 104.7%



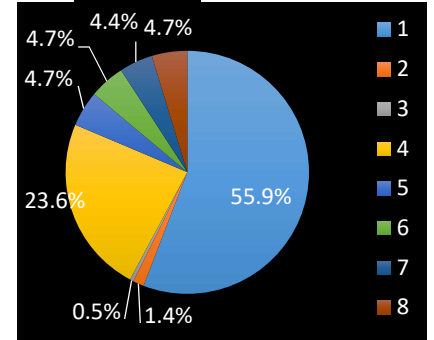
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

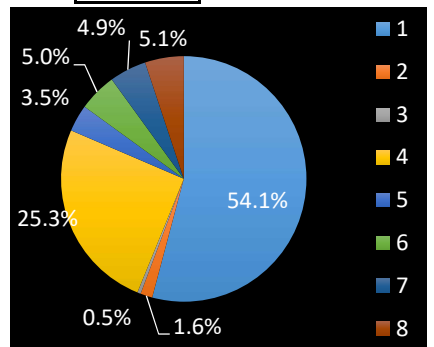
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	18PJ	16	11	20	57.6%
2 風力発電	0PJ	26	23	27	1.4%
3 地熱発電	0PJ	7	7	6	0.5%
◎ 4 小水力発電	7PJ	5	3	5	22.6%
5 バイオマス発電	1PJ	29	25	31	4.8%
6 太陽熱利用	1PJ	4	3	8	4.5%
7 地熱利用	1PJ	5	4	4	4.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	15	15	22	4.5%
合計(供給量)	30PJ	16			
再生可能エネルギー自給率			31.03%	再エネ自給率ランク 8	
食料自給率			52.6%	食料自給率ランク 18	
供給密度(TJ/km ²)			4.275	供給密度ランク 19	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				98PJ	
区域面積				7,135km ²	

2018年度 29PJ 対前年度比 108.1%



2017年度 27PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	853.6%	1	球磨郡五木村	1112.0	☆1	阿蘇郡産山村	216.0%
☆2	球磨郡水上村	818.1%	2	球磨郡水上村	472.4	☆2	上益城郡山都町	188.9%
☆3	球磨郡相良村	260.4%	3	阿蘇郡小国町	172.9	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	174.9%
☆4	阿蘇郡小国町	259.4%	4	球磨郡相良村	146.6	☆4	上益城郡嘉島町	169.8%
☆5	上益城郡山都町	188.9%	5	上益城郡山都町	116.0	☆5	阿蘇市	169.3%
☆6	球磨郡錦町	114.7%	6	球磨郡錦町	62.6	☆6	球磨郡あさぎり町	154.1%
☆7	阿蘇郡西原村	111.3%	7	阿蘇郡西原村	58.7	☆7	球磨郡湯前町	151.3%
☆8	菊池郡大津町	111.2%	8	菊池郡大津町	57.9	☆8	八代郡氷川町	146.5%
9	玉名郡南関町	87.7%	9	水俣市	47.0	☆9	玉名郡和水町	139.7%
10	上益城郡甲佐町	82.1%	10	阿蘇郡産山村	45.3	☆10	球磨郡多良木町	135.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

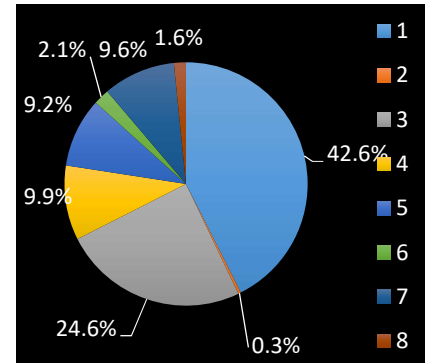
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2019年度 32PJ 対前年度比 101.3%

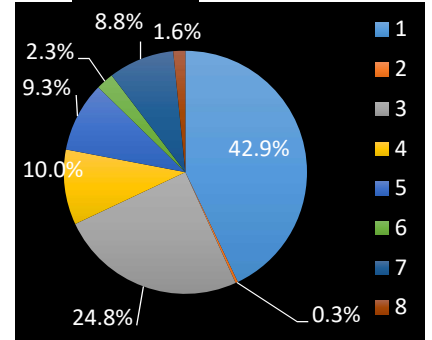


再生可能エネルギー供給状況

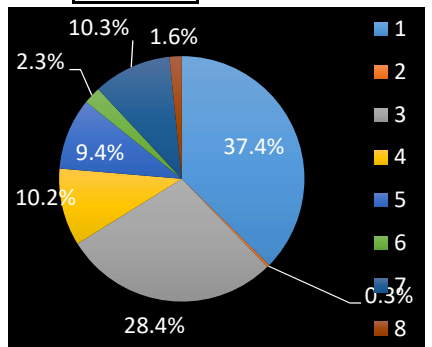
2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2018年度 32PJ 対前年度比 102.0%



2017年度 31PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	21	10	22	42.6%
2 風力発電	0PJ	32	32	33	0.3%
◎ 3 地熱発電	8PJ	1	1	1	24.6%
4 小水力発電	3PJ	15	14	14	9.9%
5 バイオマス発電	3PJ	14	4	11	9.2%
6 太陽熱利用	1PJ	22	8	20	2.1%
7 地熱利用	3PJ	1	1	1	9.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	39	29	36	1.6%
合計(供給量)	32PJ	15			
再生可能エネルギー自給率			43.33%	再エネ自給率ランク 2	
食料自給率			39.5%	食料自給率ランク 23	
供給密度(TJ/km ²)			5.057	供給密度ランク 15	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				74PJ	
区域面積				6,341km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1074.7%	1	玖珠郡九重町	991.9	☆1	竹田市	209.2%
☆2	豊後大野市	106.7%	2	豊後大野市	73.1	☆2	宇佐市	139.0%
3	由布市	76.0%	3	由布市	64.1	☆3	玖珠郡九重町	134.8%
4	杵築市	64.9%	4	杵築市	38.1	☆4	豊後大野市	134.4%
5	速見郡日出町	54.1%	5	玖珠郡玖珠町	37.2	☆5	国東市	108.5%
6	玖珠郡玖珠町	53.4%	6	日田市	37.1	6	豊後高田市	98.9%
7	日田市	52.0%	7	宇佐市	33.1	7	玖珠郡玖珠町	90.7%
8	宇佐市	51.2%	8	速見郡日出町	28.9	8	杵築市	82.6%
9	国東市	41.7%	9	国東市	25.9	9	由布市	68.8%
10	豊後高田市	39.5%	10	豊後高田市	25.1	10	佐伯市	55.9%

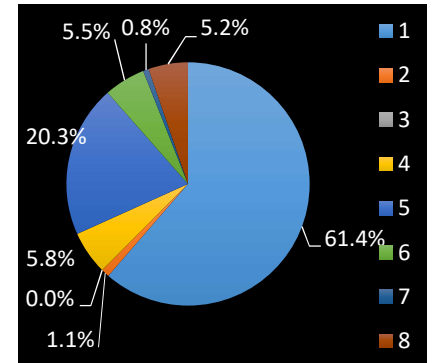
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2019年度 25PJ 対前年度比 102.2%



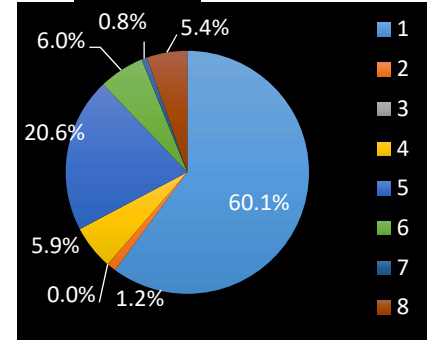
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

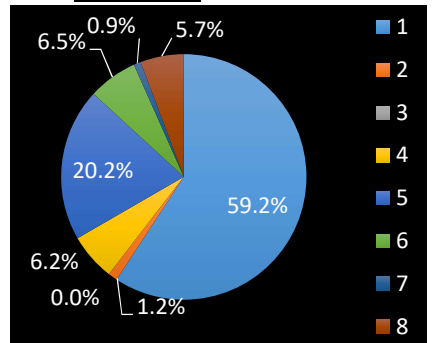
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	15PJ	20	6	26	61.4%
2 風力発電	0PJ	30	24	29	1.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	31	25	35	5.8%
◎ 5 バイオマス発電	5PJ	7	1	9	20.3%
6 太陽熱利用	1PJ	5	1	10	5.5%
7 地熱利用	0PJ	27	23	32	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	17	7	26	5.2%
合計(供給量)	25PJ	25			
再生可能エネルギー自給率			36.99%	再エネ自給率ランク 5	
食料自給率			56.3%	食料自給率ランク 16	
供給密度(TJ/km ²)			3.178	供給密度ランク 23	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				66PJ	
区域面積				7,735km ²	

2018年度 24PJ 対前年度比 107.5%



2017年度 22PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	502.4%	1	児湯郡西米良村	429.1	☆1	串間市	202.2%
☆2	西臼杵郡五ヶ瀬町	229.6%	2	西臼杵郡五ヶ瀬町	117.5	☆2	児湯郡川南町	178.8%
☆3	児湯郡都農町	147.5%	3	児湯郡川南町	99.1	☆3	えびの市	161.9%
☆4	児湯郡川南町	143.8%	4	児湯郡都農町	81.9	☆4	東臼杵郡美郷町	160.7%
☆5	東諸県郡国富町	128.6%	5	東諸県郡国富町	67.8	☆5	児湯郡木城町	160.2%
6	西臼杵郡日之影町	86.3%	6	西臼杵郡日之影町	56.2	☆6	児湯郡新富町	152.3%
7	日南市	77.9%	7	日南市	49.2	☆7	西都市	133.9%
8	日向市	73.4%	8	日向市	48.7	☆8	児湯郡都農町	115.4%
9	児湯郡新富町	45.9%	9	東臼杵郡椎葉村	28.8	☆9	西諸県郡高原町	111.6%
10	西諸県郡高原町	44.5%	10	児湯郡新富町	26.1	☆10	西臼杵郡五ヶ瀬町	101.8%

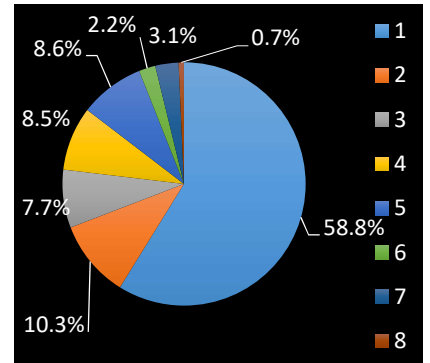
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2019年度 **40PJ** 対前年度比 105.6%



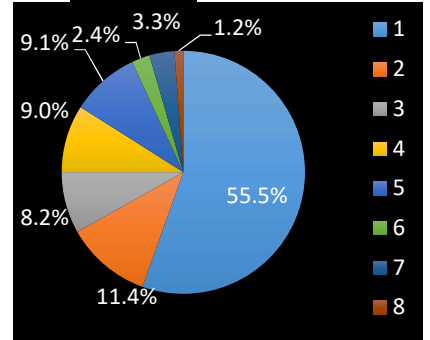
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

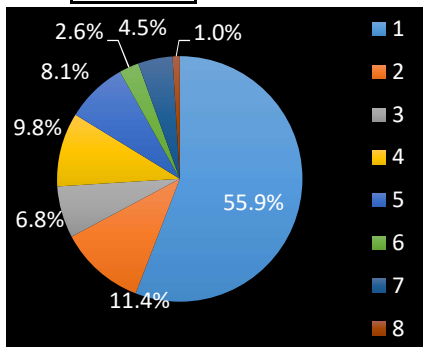
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	24PJ	10	4	17	58.8%
○ 2 風力発電	4PJ	4	4	7	10.3%
3 地熱発電	3PJ	3	3	3	7.7%
4 小水力発電	3PJ	13	16	20	8.5%
5 バイオマス発電	3PJ	12	6	14	8.6%
6 太陽熱利用	1PJ	11	7	26	2.2%
7 地熱利用	1PJ	6	5	6	3.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	42	42	46	0.7%
合計(供給量)	40PJ	5			
再生可能エネルギー自給率			41.50%	再エネ自給率ランク 3	
食料自給率			76.3%	食料自給率ランク 8	
供給密度(TJ/km ²)			4.373	供給密度ランク 18	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				97PJ	
区域面積				9,187km ²	

2018年度 **38PJ** 対前年度比 109.8%



2017年度 **35PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	姶良郡湧水町	194.5%	1	肝属郡南大隅町	139.0	☆1	熊毛郡中種子町	797.3%
☆2	肝属郡南大隅町	169.6%	2	曾於郡大崎町	124.0	☆2	大島郡天城町	655.9%
☆3	曾於郡大崎町	147.4%	3	姶良郡湧水町	120.4	☆3	大島郡喜界町	648.2%
☆4	出水郡長島町	146.7%	4	出水郡長島町	99.9	☆4	大島郡知名町	621.0%
5	肝属郡肝付町	99.2%	5	肝属郡肝付町	70.4	☆5	大島郡伊仙町	566.9%
6	南さつま市	95.7%	6	指宿市	63.6	☆6	熊毛郡南種子町	496.5%
7	霧島市	88.3%	7	南さつま市	54.1	☆7	大島郡和泊町	467.2%
8	指宿市	87.7%	8	霧島市	50.9	☆8	出水郡長島町	428.7%
9	南九州市	81.5%	9	薩摩郡さつま町	48.7	☆9	曾於郡大崎町	319.9%
10	薩摩川内市	73.5%	10	南九州市	44.3	☆10	大島郡徳之島町	288.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

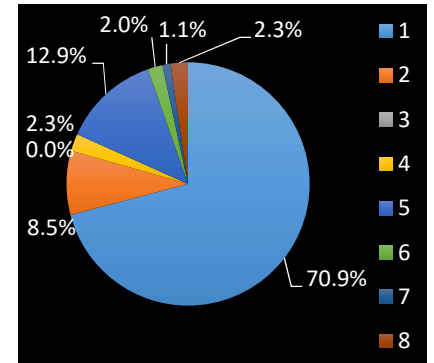
再生可能エネルギー供給状況

2020年3月末の設備状況をもとに2019年度について推計しました。

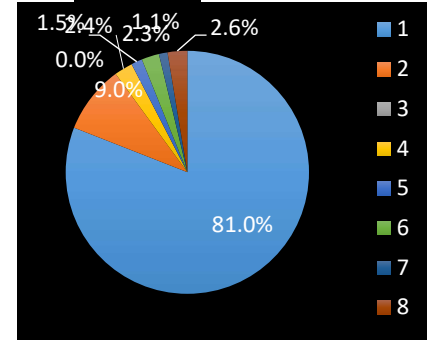
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	40	38	29	70.9%
2 風力発電	0PJ	25	22	16	8.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	43	41	41	2.3%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	40	39	18	12.9%
6 太陽熱利用	0PJ	42	40	35	2.0%
7 地熱利用	0PJ	35	32	31	1.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	46	45	40	2.3%
合計(供給量)	6PJ	47			
再生可能エネルギー自給率			7.10%	再エネ自給率ランク	43
食料自給率			29.4%	食料自給率ランク	32
供給密度(TJ/km ²)			2.470	供給密度ランク	37
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				79PJ	
区域面積				2,281km ²	

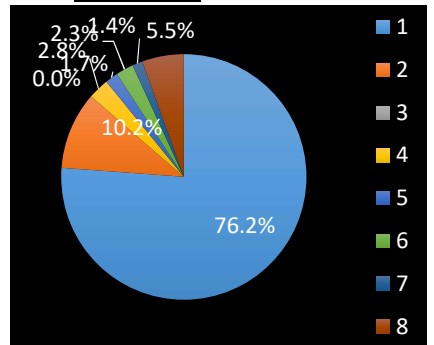
2019年度 6PJ 対前年度比 105.8%



2018年度 5PJ 対前年度比 113.2%



2017年度 5PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	113.4%	1	国頭郡東村	93.5	☆1	島尻郡南大東村	4353.4%
2	国頭郡大宜味村	68.5%	2	国頭郡大宜味村	43.3	☆2	島尻郡北大東村	2545.1%
3	国頭郡伊江村	55.0%	3	国頭郡伊江村	26.4	☆3	宮古郡多良間村	932.3%
4	国頭郡今帰仁村	41.9%	4	国頭郡今帰仁村	18.5	☆4	島尻郡伊是名村	779.5%
5	宮古郡多良間村	30.8%	5	国頭郡国頭村	14.5	☆5	島尻郡久米島町	387.4%
6	国頭郡宜野座村	29.7%	6	国頭郡宜野座村	14.4	☆6	八重山郡竹富町	357.4%
7	島尻郡南風原町	25.0%	7	八重山郡与那国町	13.1	☆7	島尻郡伊平屋村	271.8%
8	国頭郡国頭村	23.3%	8	国頭郡本部町	12.8	☆8	宮古島市	264.8%
9	八重山郡与那国町	22.2%	9	島尻郡南風原町	12.7	☆9	島尻郡粟国村	126.7%
10	国頭郡本部町	21.9%	10	宮古郡多良間村	11.9	☆10	八重山郡与那国町	124.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。